

学術集会プログラム

学会賞受賞講演

10月11日(金) 13:55～14:10 第1会場(1F G2) ◎

座長 室谷 浩二(神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科)

私にとっての小児内分泌学

田島 敏広

自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科

特別講演 1 ※日本内分泌学会指定講演

10月10日(木) 15:30～16:30 第2会場(3F G301+302) ◎

座長 鳴海 覚志(慶應義塾大学医学部小児科学教室)

PL1 水分子の生物学・医学

安井 正人

慶應義塾大学医学部薬理学教室

特別講演 2 ※日本内分泌学会指定講演

10月11日(金) 15:30～16:30 第2会場(3F G301+302) ◎

座長 室谷 浩二(神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科)

PL2 臨床医が知っておくべき疫学研究のイロハ

西脇 祐司

東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野

招聘講演 男女共同参画ワークライフバランス委員会企画

10月12日(土) 13:00～14:00 第1会場(1F G2) ◎

座長 藤澤 泰子(浜松医科大学小児科)

糖尿病・肥満症における脳心血管合併症の効果的な予防戦略 ～日本内分泌学会における男女共同参画推進～

浅原 哲子

国立病院機構京都医療センター臨床研究センター内分泌代謝高血圧研究部

学会招聘海外講演

10月11日(金) 11:05～11:50 第1会場(1F G2) ◎

座長 鳴海 覚志(慶應義塾大学医学部小児科学教室)

Modelling Thyroid Hormone Action during Early Cortex Development by Single Cell RNA Sequencing of Human Cerebral Organoids

Robert Opitz

Department of Pediatric Endocrinology and Diabetology, Charité University Medicine Berlin (Germany)

KSPE-JSPE 交換講演

10月11日(金) 10:10～10:55 第1会場(1F G2)

◎

座長 菊池 透(埼玉医科大学小児科)

Management of type 1 diabetes in children and adolescents

Jaehyun Kim

Department of Pediatrics, Seoul National University Bundang Hospital,
Seoul National University College of Medicine

会長講演

10月10日(木) 10:00～10:30 第1会場(1F G2)

◎

座長 水野 晴夫(藤田医科大学医学部小児科学)

やってみないとわからないでしょ

Imagination is more important than Knowledge

室谷 浩二

神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科

特別企画シンポジウム 小児栄養を科学・実践する Hearth for all children, adolescent and young adults

10月12日(土) 14:00～15:00 第1会場(1F G2)

◎

座長 室谷 浩二(神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科)

井ノ口 美香子(慶應義塾大学保健管理センター)

SSY-1 エビデンスに基づく小児の食と栄養をめざして

伊藤 明子^{1,2}

¹赤坂ファミリークリニック、²東京大学医学部附属病院小児科

SSY-2 小児病院での栄養サポートチームの運営

高増 哲也

神奈川県立こども医療センター地域保健推進部

SSY-3 小児・AYA世代がん経験者の栄養管理

三善 陽子^{1,2}

¹大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科臨床栄養発育学研究室、

²大阪大学大学院医学系研究科小児科学

シンポジウム 1 日本小児血液・がん学会合同シンポジウム 造血細胞移植の現状と課題

10月10日(木) 15:30～16:45 第1会場(1F G2)

◎

座長 岡田 賢(広島大学大学院医系科学研究科小児科学)

菅野 潤子(東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野)

SY1-1 造血細胞移植の現状：小児腫瘍性および非腫瘍性疾患

日野 もえ子

千葉大学医学部附属病院

SY1-2 造血細胞移植後の課題：JCCG大規模調査研究から

片岡 伸介

名古屋大学医学部小児科

- SY1-3 造血細胞移植後の内分泌・代謝障害 ～晩期合併症としての部分性脂肪萎縮～**
 岡田 賢¹、安達 昌功²、内海 孝法¹、松田 やよい³、田中 智洋⁴、日下部 徹⁵、
 小川 佳宏³、長谷川 泰延⁶
¹ 広島大学大学院医系科学研究科小児科学、² 昭和大学病院医学部小児科学講座、
³ 九州大学大学院医学研究院病態制御内科学分野、
⁴ 名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学、
⁵ 国立病院機構京都医療センター臨床研究センター内分泌代謝高血圧研究部、
⁶ 慶應義塾大学医学部小児科学教室

シンポジウム 2 災害対策委員会 共同企画 「想定を超える災害」への備えと対処

10月10日(木) 15:30～16:45 第3会場 (3F G303)

座長 伊藤 善也 (日本赤十字北海道看護大学臨床医学領域)
 藤原 幾磨 (仙台市立病院小児科)

SY2-1 令和6年能登半島地震における小児内分泌領域の活動と課題について

伊藤 順庸¹、谷口 千尋²、岡島 道子³
¹ 金沢医科大学小児科、² 珠洲市総合病院小児科、³ 金沢大学小児科

SY2-2 病院の1週間の断水を経験して我々が得たもの

上牧 務
 静岡市立清水病院

SY2-3 「インスリンは命」災害から小児・思春期1型糖尿病患者を守る対策

菊池 透^{1,3}、田久保 憲行^{2,3}
¹ 埼玉医科大学小児科、² 順天堂大学医学部小児科学講座、³ 日本小児内分泌学会糖代謝委員会

シンポジウム 3 下垂体・成長障害委員会 共同企画 間脳下垂体機能障害への理解を深めよう！

10月11日(金) 15:30～16:45 第3会場 (3F G303)

座長 水野 晴夫 (藤田医科大学医学部小児科学)
 鞆嶋 有紀 (島根大学医学部小児科学教室)

SY3-1 成長ホルモン分泌不全性低身長症 Update

伊達木 澄人
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科学

SY3-2 中枢性思春期早発症

高橋 郁子
 秋田大学大学院医学研究科小児科学講座

SY3-3 中枢性尿崩症はどう診断するか？ 診断の手引きを理解し次に来る多飲多尿に備える！

濱田 淳平
 愛媛大学大学院医学系研究科小児科学

シンポジウム 4 性分化・副腎疾患委員会 共同企画 性分化疾患の診療ガイドライン準拠 DSD に対する外科的治療

10月12日(土) 10:40～11:50 第3会場 (3F G303)

座長 石井 智弘 (慶應義塾大学小児科)
 尾崎 佳代 (兵庫県立こども病院代謝内分泌代謝科)

SY4-1 非典型的な外性器をもつ新生児・乳幼児の診断アプローチ

糸永 知代
 大分大学医学部小児科

SY4-2 性分化疾患：女性の外科的治療の時期と術式

矢内 俊裕
 茨城県立こども病院小児外科、小児泌尿器科

SY4-3 男性の外科的治療の時期と術式

小島 祥敬、平栗 あかり、桐花 悠介、長谷川 暁久、今井 仁美、滝浪 瑠璃子、
松岡 香菜子、星 誠二、胡口 智之、秦 淳也、佐藤 雄一、小川 総一郎
福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座

ミニシンポジウム 小児頭蓋咽頭腫を極める

10月12日(土) 10:40～11:40 第2会場 (3F G301+302)

◎

座長 伊藤 純子 (虎の門病院小児科)
花川 純子 (神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科)

MSY-1 小児頭蓋咽頭腫の特徴と課題

磯島 豪¹、向山 祐理¹、伊藤 純子¹、横谷 進^{1,2}
¹ 国家公務員共済組合連合会虎の門病院小児科、
² 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

MSY-2 小児頭蓋咽頭腫の外科治療：現状と課題

西岡 宏
虎の門病院間脳下垂体外科

男女共同参画・ワークライフバランス委員会 企画セッション 男女共同参画ワークライフバランスにもほどがある 一昭和レジェンド世代、平成ドリーム世代から令和ロマン世代まで

10月12日(土) 10:40～11:50 第4会場 (3F G304)

座長 鞆嶋 有紀 (島根大学医学部小児科学教室)
難波 範行 (鳥取大学医学部周産期・小児医学分野)

SPS-1

大藪 恵一
医誠会国際総合病院難病医療センター

SPS-2

緒方 勤
浜松医療センター / 浜松医科大学

SPS-3

菱村 希
北海道大学病院小児科

SPS-4

岩本 美紀
海南医療センター小児科

SPS-5

鈴木 大
東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野

SPS-6

菅野 潤子
東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野

10月12日(土) 10:40～11:40 第1会場(1F G2)

◎

座長 田久保 憲行(順天堂大学医学部小児科学講座)

小児1型糖尿病 インスリン治療の真髓

～乳児・小児・思春期 各インスリン治療の特性とCGMの見方～

広瀬 正和¹、大梅 成崇²、須永 紋奈²、柚山 賀彦²、西川 直子²、橋村 夏野子³、
橋本 友美⁴、東出 崇⁴、木村 佳代⁵、青野 繁雄⁶、川村 智行⁷¹D Medical Clinic Osaka、²大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学、³橋村医院、⁴ハグハグキッズクリニック、⁵木村医院、⁶寺田町こども診療所、⁷あべのメディカルクリニック

スタートアップ教育セミナー

10月10日(木) 9:00～9:45 第2会場(3F G301+302)

◎

座長 花川 純子(神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科)

NICUで早産児の内分泌機能を考察する

下風 朋章

神奈川県立こども医療センター新生児科

Rising star 教育講演 1

10月11日(金) 8:10～8:50 第2会場(3F G301+302)

◎

座長 鹿島田 健一(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野)

RSEL1-1 ロングリードシーケンス法を用いた21水酸化酵素欠損症の臨床応用可能な遺伝子検査法の開発

安達 恵利子

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野

RSEL1-2 座長の言葉

鹿島田 健一

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野

Rising star 教育講演 2

10月11日(金) 8:10～8:50 第3会場(3F G303)

◎

座長 川井 正信(大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門)

RSEL2-1 「体内時計が乱れると太る」は、生命現象の本質なのか？

大沼 真輔

Div. of Endocrinology, Diabetes and Metabolism, Cedars-Sinai Medical Center,
Los Angeles, CA, USA**RSEL2-2 座長の言葉**

川井 正信

大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門

企業共催海外招聘講演

10月11日(金) 15:30～16:20 第1会場(1F G2)

共催: JCR ファーマ株式会社

座長 緒方 勤 (浜松医科大学小児科・医化学)

Insights into the different phenotypes of SHOX deficiency and abundance

Gudrun A. Rappold

Institute of Human Genetics, University of Heidelberg, Germany

ランチョン教育セミナー 1

10月10日(木) 11:50～12:40 第1会場(1F G2)

共催: JCR ファーマ株式会社

座長 濱田 淳平 (愛媛大学大学院医学系研究科小児科学)

LS1 成長ホルモン治療を行う子どもの自律・自立を考える ～子ども目線のデバイス評価とその可能性～

大津 義晃

群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野

ランチョン教育セミナー 2 軟骨無形成症の治療と管理

10月10日(木) 11:50～12:40 第2会場(3F G301+302)

共催: バイオマリン ファーマシューティカルジャパン株式会社

座長 藤原 幾磨 (仙台市立病院小児科)

LS2-1 軟骨無形成症に対する小児神経外科的視点

加藤 美穂子

あいち小児保健医療総合センター脳神経外科

LS2-2 軟骨無形成症への早期診断並びにボソリチド導入効果

松本 志郎¹、笹岡 大記²、阿南 浩太郎²、永松 扶紗²、服部 裕介²、野田 裕介²、
三淵 浩³、中村 公俊²

¹熊本大学病院新生児学寄付講座、²熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座、

³福田病院新生児センター

ランチョン教育セミナー 3

10月10日(木) 11:50～12:40 第3会場(3F G303)

共催: サノフィ株式会社

座長 菊池 信行 (横浜労災病院小児科)

LS3 小児・思春期 1 型糖尿病診療の実際: 最適な治療選択の支援のために

山本 幸代^{1,2}

¹産業医科大学医学教育改革推進センター、²産業医科大学医学部小児科

ランチョン教育セミナー 4 ライフステージや病態から見た XLH 診療

10月10日(木) 11:50～12:40 第4会場 (3F G304)

共催：協和キリン株式会社

座長 道上 敏美 (大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門)

窪田 拓生 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

LS4-1 XLHにおける患者や家族との shared decision making の重要性

・ 長期に渡る最適なマネジメントのために ・

尾崎 佳代

兵庫県立こども病院代謝内分泌科

LS4-2 より良いくる病診療を目指して～成人科の役割～

今西 康雄

大阪公立大学医学研究科代謝内分泌病態内科学

ランチョン教育セミナー 5

10月11日(金) 12:00～12:50 第1会場 (1F G2)

共催：ファイザー株式会社

座長 鳴海 覚志 (慶應義塾大学医学部小児科学教室)

LS5 GHDにおける成長ホルモン長期製剤ソムアトロゴンへの切り替え後1年間のデータ：自施設での経験

森 潤

大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科

ランチョン教育セミナー 6 軟骨無形成症の治療戦略

10月11日(金) 12:00～12:50 第2会場 (3F G301+302)

共催：バイオマリン ファーマシューティカルジャパン株式会社

座長 天野 直子 (東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科)

LS6-1 軟骨無形成症における小児期の整形外科的管理と治療

鬼頭 浩史

あいち小児保健医療総合センター整形外科

LS6-2 軟骨無形成症の病態と新規治療の開発

道上 敏美

大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門

ランチョン教育セミナー 7

10月11日(金) 12:00～12:50 第3会場 (3F G303)

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長 田久保 憲行 (順天堂大学医学部小児科学講座)

LS7 次世代の血糖管理：進化するインスリンとデジタルヘルスを用いた治療の可能性

三浦 順之助

東京女子医科大学内科学講座糖尿病・代謝内科学分野

ランチョン教育セミナー 8

10月11日(金) 12:00～12:50 第4会場 (3F G304)

共催：日本イーライリリー株式会社

座長 菊池 透 (埼玉医科大学病院小児科)

LS8 1型糖尿病をもつ全ての人たちの明るい未来を目指して

木村 那智

ソレイユ千種クリニック

ランチョン教育セミナー 9

10月12日(土) 12:00～12:50 第1会場 (1F G2)

共催：ファイザー株式会社

座長 藤澤 泰子 (浜松医科大学医学部附属病院小児科)

LS9 プラダー・ウィリ症候群の病態から考える成長ホルモン治療の意義

川井 正信

大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門

ランチョン教育セミナー 10 視床下部症候群—診断と治療の課題

※同時通訳有り

10月12日(土) 12:00～12:50 第2会場 (3F G301+302)

◎

共催：Rhythm Pharmaceuticals Inc

座長 長谷川 奉延 (慶應義塾大学医学部小児科学教室)

LS10-1 Long-Term Quality of Life and Hypothalamic Dysfunction after Craniopharyngioma

Hermann L. Müller

Department of Pediatrics and Pediatric Hematology / Oncology, Universität Children's Hospital, Carl von Ossietzky Universität, Klinikum Oldenburg AöR

LS10-2 小児頭蓋咽頭腫術後の肥満を考える

長崎 啓祐^{1,2}

¹長野県立こども病院、²新潟大学小児科

ランチョン教育セミナー 11 reThink HPP

10月12日(土) 12:00～12:50 第3会場 (3F G303)

共催：アレクシオンファーマ合同会社

座長 難波 範行 (鳥取大学医学部周産期・小児医学分野)

LS11-1 低ホスファターゼ症の診断と疾病負荷—骨外症状を見逃さない—

窪田 拓生

大阪大学大学院医学系研究科小児科学

LS11-2 低ホスファターゼ症の歯科症状を再考する

大川 玲奈

大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学教室

スイーツ教育セミナー 1

10月10日(木) 15:30～16:20 第4会場 (3F G304)

共催: サンド株式会社

座長 内木 康博 (国立成育医療センター内分泌・代謝科)

SWS1 低出生体重児の将来の非肥満型糖尿病の発症を予防できるか? : モデルマウスによる成長ホルモンの効果の検証

森岡 一朗

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

スイーツ教育セミナー 2 小児内分泌科医が知っておきたい希少疾患—脂肪萎縮症—

※同時通訳有り

10月11日(金) 15:30～16:20 第4会場 (3F G304)

共催: キエジ・ファーマ・ジャパン株式会社

座長 中尾 一和 (京都大学メディカルイノベーションセンター)

SWS2-1 Lipodystrophy: Cutting-Edge Insights on Diagnosis and Management

Elif Oral

Division of Metabolism, Endocrinology and Diabetes, Univ. of Michigan

SWS2-2 造血幹細胞移植関連部分性脂肪萎縮症の実態解明

岡田 賢

広島大学大学院医系科学研究科小児科学

イブニング教育セミナー 成長ホルモン治療のタベ

10月10日(木) 19:15～20:45 第1会場 (1F G2)

共催: ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長 石井 智弘 (慶應義塾大学医学部小児科学)

南谷 幹史 (帝京大学ちば総合医療センター小児科)

ES-1 長時間作用型成長ホルモン製剤治療の幕開け

大幡 泰久

大阪大学大学院医学系研究科小児科学

ES-2 SGA 性低身長症—成長ホルモン治療と長期予後—

小山 さとみ

獨協医科大学埼玉医療センター小児科

ES-3 Noonan 症候群の管理 ～小児内分泌医と循環器医のコラボレーション～

山岸 敬幸^{1,2}

¹ 東京都立小児総合医療センター、² 慶應義塾大学医学部小児科

ハンズオンセミナー 1

10月10日(木) 15:20～16:35 第5会場 (3F G314+315)

共催: テルモ株式会社

- HS1 ① 15:20-15:55 パッチ式インスリンポンプ「メディセーフウィズ スマート」(1回目)
② 16:00-16:35 パッチ式インスリンポンプ「メディセーフウィズ スマート」(2回目)

ハンズオンセミナー 2

10月11日(金) 15:30～16:45 第5会場 (3F G314+315)

共催：日本メドトロニック株式会社

HS2 ミニメド™780G システムのハンズオン：

Advanced Hybrid Closed Loop テクノロジーを含めたミニメド™780G システムの特徴・ハンズオン (ボタン操作体験)・インスリンポンプや CGM 導入時のコツや注意点など

インタラクティブプレミアムセミナー 成長障害診療における Tips を学ぶ～画像診断への挑戦・遺伝カウンセリング・医療経済と BS ～

10月12日(土) 13:00～15:00 インタラクティブプレミアムセミナー会場 (G318・319)

共催：サンド株式会社

座長 松井 克之 (滋賀県立小児保健医療センター内分泌代謝糖尿病科)

IPS-1 小児画像診断の実際 ～クイズ症例からみる画像所見の拾い上げのポイント～

西川 正則

大阪母子医療センター放射線科

IPS-2 遺伝カウンセリングの Tips

秋山 奈々

東京大学医学部附属病院ゲノム診療部

IPS-3 関節リウマチ治療の進歩と医療経済の問題点

田中 榮一

東京女子医科大学医学部内科学講座膠原病リウマチ内科学分野

市民公開講座 プラダー・ウィリ症候群のことを知ってください

10月12日(土) 15:30～17:30 第1会場 (1F G2)

座長・進行 川井 正信 (大阪母子医療センター研究所 分子遺伝・内分泌代謝研究部門)

室谷 浩二 (神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科)

最優秀演題・若手優秀演題候補講演 1

10月10日(木) 12:50～14:05 第1会場 (1F G2)

座長 深見 真紀 (国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部)

長崎 啓祐 (長野県立こども病院内分泌代謝科)

★ SP1-1 Slc26a7 ノックアウト成獣マウスにおいて雄は雌よりも強い甲状腺の表現型を呈する

山口 直哉¹、鈴木 敦詞^{1,2}、大矢知 真希¹、吉田 あや^{1,3}、青山 幸平¹、齋藤 伸治¹

¹名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野、²岐阜県立多治見病院小児科、

³一宮市立市民病院小児科

★ SP1-2 生後早期からのビタミンD週1回投与の1か月児における Vitamin D insufficiency 予防効果

原 香織¹、森澤 和美¹、飛弾 麻里子¹、岩元 晋太郎²、池田 一成³、長谷川 奉延¹

¹慶應義塾大学医学部小児科、

²国立成育医療センター臨床研究センターデータサイエンス部門生物統計ユニット、

³さいたま市立病院周産期母子医療センター新生児内科

★ SP1-3 X連鎖性低リン血症性くる病の骨芽細胞系列における複合的異常：

PHEX-knockout ヒト iPS 細胞を用いた解析

道上 敏美¹、中西 達郎^{1,2}、山崎 美和¹、立川 加奈子¹、上田 亜侑^{1,3}、川井 正信⁴、

大藪 恵一⁵

¹地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター研究所骨発育疾患研究部門、

²大阪大学大学院医学系研究科小児科学、³大阪大学大学院歯学研究科口腔外科学第一、

⁴地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門、

⁵医誠会国際総合病院難病医療推進センター

- ★ SP1-4 間欠的空気加圧培養法による立体組織構築と内分泌細胞機能改善への応用
勝浦 美沙子^{1,2}、本間 順¹、東 祐平³、関根 秀一¹、清水 達也¹
¹ 東京女子医科大学 先端生命医学研究所、² 東京女子医科大学病院 小児科、
³ 株式会社東海ヒット
- ★ SP1-5 骨髄中の好中球前駆細胞は破骨細胞分化を抑制する
磯島 豪^{1,2}、Crimeen-Irwin Blessing¹、McGregor Narelle E.¹、Walker Emma C.¹、
Poulton Ingrid J.¹、Martin T. John^{1,3}、Sims Natalie A.^{1,3}
¹ セントビンセント医学研究所、² 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 小児科、
³ メルボルン大学

最優秀演題・若手優秀演題候補講演 2

10月10日(木) 14:05～15:20 第1会場(1F G2)

座長 難波 範行(鳥取大学医学部周産期・小児医学分野)
藤澤 泰子(浜松医科大学小児科)

- ★ SP2-1 胎児発育不全による胎児プログラミングは時期特異性をもつ
野口 優輔¹、遠藤 健太郎²、安齋 達彦³、鎌谷 高志³、森丘 千夏子¹、早田 茉莉⁴、
我有 茉希^{1,5}、安達 恵利子¹、杉江 学¹、滝 敦子¹、伊藤 一之¹、本多 泉⁶、黒田 淳平⁷、
岡崎 薫⁷、高橋 邦彦³、関矢 一郎²、森尾 友宏¹、鹿島田 健一¹
¹ 東京医科歯科大学発生発達病態学、² 東京医科歯科大学再生医療研究センター、
³ 東京医科歯科大学 M&D データ科学センター、⁴ 川口市立医療センター新生児集中治療科、
⁵ 東京医科歯科大学大学院先進倫理医科学、⁶ 東京都立多摩総合医療センター産婦人科、
⁷ 東京都立小児総合医療センター新生児科
- ★ SP2-2 ROHHAD 症候群関連自己抗体の受託解析に関するパイロットデータ
宇都宮 朱里^{1,2}、逢坂 和昌³、小野 泰輔^{1,2}、永松 扶紗⁴、笹岡 大記⁴、最上 友紀子⁵、
中島 健⁵、鈴木 雄一⁶、浦上 可奈子⁷、大前 綾⁸、五十嵐 亮太⁹、柵木 健吾¹⁰、
柴崎 拓実¹¹、高橋 裕¹⁰、古庄 知己^{2,12}
¹ 広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科、² 厚生労働科研費難治性疾患政策事業研究班、
³ 伏見製薬研究所衛生検査センター、⁴ 熊本大学病院小児科、
⁵ 大阪母子医療センター小児神経科、⁶ 福島県立医科大学小児科、⁷ 淀川キリスト教病院小児科、
⁸ 船橋二和病院小児科、⁹ 産業医科大学病院小児科、¹⁰ 奈良県立医科大学糖尿病・内分泌内科学、
¹¹ 信州大学医学部小児医学教室、¹² 信州大学医学部遺伝医学教室
- ★ SP2-3 Targeted long read sequencing を用いたインプリンティング異常症新規遺伝学的診断法の開発
浦川 立貴^{1,2}、服部 淳¹、萩原 康子¹、小川 朋恵¹、石渡 啓介³、緒方 広子³、
嘉村 浩美³、黒木 陽子^{4,5}、中林 一彦³、深見 真紀¹、鏡 雅代¹
¹ 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
² 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科、
³ 国立成育医療研究センター研究所周産期病態研究部、
⁴ 国立成育医療研究センター研究所ゲノム医療研究部、
⁵ 国立成育医療研究センター研究所共同研究管理室
- ★ SP2-4 マウスモデルによる新規 PAX8 G56S バリエーションの時間依存的な甲状腺表現型推移の検討
阿部 清美^{1,2}、西岡 淳子³、小田野 めぐみ⁴、岩野 麗子⁵、室谷 浩二⁵、藏本 純子⁶、
金井 弥栄⁶、秋葉 和壽⁴、高田 修治⁷、寺尾 美穂⁷、石井 智弘²、鳴海 覚志^{2,4}、
長谷川 奉延²
¹ 東京都済生会中央病院小児科、² 慶應義塾大学医学部小児科、³ 久留米大学医学部小児科、
⁴ 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
⁵ 神奈川県立こども医療センター臨床研究所、⁶ 慶應義塾大学医学部病理学教室、
⁷ 国立成育医療研究センター研究所システム発生・再生医学研究部

★ SP2-5 性分化疾患原因遺伝子 *MYRF* の病的変異導入モデルマウスを用いた *Myrf*/*MYRF* 生体内機能の解明

福井 由宇子¹、寺尾 美穂²、高田 修治²、緒方 勤³、深見 真紀¹

¹ 国立成育医療研究センター・分子内分泌研究部、

² 国立成育医療センター・システム発生・再生医学研究部、³ 浜松医科大学小児科

English Oral Session 1 Clinical trial, Post-marketing surveillance

10月11日(金) 9:00～10:00 第4会場 (3F G304)

Chairs Noriyuki Namba (Division of Pediatrics and Perinatology, Tottori University Faculty of Medicine)

Asako Tajima (Department of Pediatrics, Jikei University School of Medicine)

EO1-1 Genetic and Endocrine Factors Affecting Growth Retardation in Mitochondrial Diseases

Hideaki Yagasaki, Hiromune Narusawa, Koichi Makino, Mie Mochizuki, Kisho Kobayashi, Kazumasa Sato, Fumikazu Sano, Kaoru Fujioka, Sonoko Mizorogi, Yoshimi Kaga, Masanori Ohta, Takeshi Inukai

Dept. of Pediatr., Yamanashi Univ. Such. of Med.

EO1-2 The Current Status and Trends of Pediatric Diabetes Newly Diagnosed by School Urine Examination: Collaborative Efforts in the Kyushu-Okinawa Region

Yukiyo Yamamoto^{1,2}, Tuneyoshi Baba^{1,3}, Eiichi Kinoshita^{1,4}, Hiroshi Hasegawa^{1,5}, Shiro Matsumoto^{1,6}, Yukiko Minetoma^{1,7}, Kenji Ihara^{1,8}, Hirotake Sawada^{1,9}, Michiyo Mizota^{1,10}, Takuya Kaneshi^{1,11}, Takeshi Inamitsu^{1,12}

¹The Kyushu Council for in-School Examirtation,

²Dept. of Medical Education, Univ. of Occupational and Environmental Health, Japan,

³Baba Children Clinic, ⁴Kinoshita Children Clinic, ⁵Hasegawa Clinic,

⁶Dept. of Pediatrics, Kumamoto Univ., ⁷Minetoma Clinic, ⁸Dept. of Pediatrics, Oita Univ.,

⁹School of Nursing Faculty of Medicine Univ. of Miyazaki,

¹⁰Dept. of Pediatrics, Imamura General Hospital, ¹¹Dept. of Pediatrics, Univ. of the Ryukyus,

¹²Inamitsu Children Clinic

EO1-3 Measurement of Diiodothyropropionic Acid (DITPA) by Liquid Chromatography-Tandem Mass Spectrometry (LC-MS/MS)

Hideyuki Iwayama¹, Kohei Kawahara², Sachiko Kitagawa^{1,2}, Masumi Iwasa¹, Yoshinori Ito¹, Akihisa Okumura¹

¹Dept. of Pediatr., Aichi Medical University. Sch. of Med.,

²Dept. of Pediatr., Daiyukai General Hospital

E01-4 Advances in insulin therapy for Japanese pediatric and adolescent type 1 diabetes revealed by the 2018 cohorts of the childhood-onset type 1 diabetic patients in Japanese Study Group of Insulin Therapy for Childhood and Adolescent Diabetes (JSGIT)

Toru Kikuchi¹, Tatsuhiko Urakami², Tomoyuki Kawamura³, Nobuyuki Kikuchi⁴, Yoshiya Ito⁵, Yukiyo Yamamoto⁶, Mie Mochizuki⁷, Ichiro Yokota⁸, Maki Fukami⁹, Kenji Ihara¹⁰, Kentaro Shiga¹¹, Koji Takemoto¹², Masakazu Hirose¹³, Hiroshi Yokomichi¹⁴, Shin Amemiya¹, Shigetaka Sugihara¹⁵

¹Dept. of Pediatrics, Saitama Medical Univ.,

²Urakami Pediatric Endocrinology Diabetes Clinic, ³Abeno Medical Clinic,

⁴Dept. of Pediatrics, Yokohama Rosai Hospital,

⁵Division of Clinical Medicine, Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing,

⁶Director of Medical Education, Dept. of Pediatrics, School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health,

⁷Dept. of Pediatrics, University of Yamanashi,

⁸Dept. of Pediatrics, Division of Pediatric Endocrinology and Metabolism, Shikoku Medical Center for Children and Adults,

⁹Dept. of Molecular Endocrinology, National Research Institute for Child Health and Development, ¹⁰Dept. of Pediatrics, Faculty of Medicine, Oita University,

¹¹Children's Medical Center, Yokohama City University Medical Center,

¹²Dept. of Pediatrics, Ehima Prefectural Niihama Hospital, ¹³D Medical Clinic Osaka,

¹⁴Dept. of Health Sciences, Division of Medicine, Graduate School Department of Interdisciplinary Research, University of Yamanashi,

¹⁵Tokyo Women's Medical University

E01-5 Open-label extension of a global Phase 3 study of once-weekly somatrogen in pediatric patients with growth hormone deficiency: results from up to 4 years of somatrogen treatment

Joel Steelman¹, John Choe², Renata Stawerska³, Lawrence Silverman⁴, Cheri Deal⁵, Michael Wajnrajch^{6,7}, Marc Thomas⁸, Daria La Torre⁹, Moshe Phillip¹⁰, Patricia Crock¹¹, Carrie Taylor⁶, Ronnie Wang¹², Jose Cara⁶

¹Cook Children's Medical Center, ²OPKO Health Inc, Miami, FL, USA,

³Department of Endocrinology and Metabolic Diseases, Polish Mother's Memorial Hospital – Research Institute of Lodz and Department of Paediatric Endocrinology of Medical University of Lodz, Lodz, Poland,

⁴Goryeb Children's Hospital, Atlantic Health System, Morristown, NJ, USA,

⁵Centre de recherche CHU Ste-Justine, Université de Montréal, Montréal, QC, Canada,

⁶Pfizer Inc, New York, NY, USA,

⁷New York University, Grossman School of Medicine, New York, NY, USA,

⁸Pfizer Ltd, Tadworth, UK, ⁹Pfizer SRL, Rome, Italy,

¹⁰Schneider Children's Medical Center of Israel; Sackler Faculty of Medicine, Tel-Aviv University, Petah Tikva, Israel,

¹¹John Hunter Children's Hospital, Newcastle, NSW, Australia,

¹²Pfizer Inc, Groton, CT, USA

EO1-6 Long-Term Efficacy and Safety of Once-Weekly Somatrogen in Pediatric Patients with Growth Hormone Deficiency: Results From up to 8 years of Somatrogen Treatment

Zvi Zadik¹, Nataliya Zelinska², Violeta Iotova³, Yulia Skorodok⁴, Oleg Malievskiy⁵, Nelly Mauras⁶, Srinivas Valluri⁷, Aleksandra Pastrak⁸, Ron Rosenfeld⁹, Carrie Taylor⁷, Ronnie Wang¹⁰, Michael Wajnrajch^{7,11}, Jose Cara⁷

¹Kaplan Medical Center, ²Ministry of Health of Ukraine, Kyiv, Ukraine,

³Medical University of Varna, Varna, Bulgaria,

⁴Saint-Petersburg State Pediatric Medical University, Saint-Petersburg, Russia,

⁵Bashkirian State Medical University, Ufa, Russia,

⁶Nemours Children's Health, Jacksonville, FL, USA, ⁷Pfizer Inc, New York, NY, USA,

⁸OPKO Health, Miami, FL, USA, ⁹Oregon Health and Science University, Portland, OR, USA,

¹⁰Pfizer Inc, Groton, CT, USA,

¹¹New York University, Grossman School of Medicine, New York, NY, USA

English Oral Session 2 Clinical Case Report

10月11日(金) 14:20 ~ 15:00 第4会場 (3F G304)

Chairs Toshihiro Tajima (Department of Pediatrics, Jichi Medical University Tochigi Childrens' Medical Center)

Misa Honda (Department of Pediatrics, Tokyo Dental University General Hospital)

EO2-1 Novel GNAS variant in two pediatric patients with pseudohypoparathyroidism-related disease

Mika Dofuku¹, Maho Asai¹, Fuminori Yamamoto², Sachie Nakamura¹, Toshihiro Tajima¹

¹Dept. of Pediatr., Jichi Univ. Sch. of Med.,

²Dept. of Dermatol., Japan Red Cross Medical Center

EO2-2 Early diagnosed Diffuse Sclerosing Variant Papillary Thyroid Carcinoma (DSVPTC); 11-year-old girl with characteristic ultrasonography

Nao Takizaki¹, Takeshi Uehara¹, Toshinaru Fukae¹, Naomi Hatabu¹, Masako Izawa¹,

Junko Hanakawa¹, Mio Tanaka², Norihiko Kitagawa³, Masahide Nakano⁴, Koji Muroya¹

¹Dept. of Endocrinology and Metabolism, Kanagawa Children's Medical Centre,

²Dept. of Pathology Diagnosis, Kanagawa Children's Medical Centre,

³Dept. of Surgery, Kanagawa Children's Medical Centre,

⁴Thyroid Centre, Showa University Northern Yokohama Hospital

EO2-3 46, XY individual with disorder of sex development (DSD) associated with a novel PPP1R12A variant

Yoko Saito¹, Takeshi Uehara², Yukiko Kuroda¹, Yumi Enomoto³, Takuya Naruto³,

Naomi Hatabu², Junko Hanakawa², Kenji Kurosawa^{1,3}, Koji Muroya²

¹Div. of Med. Genet., Kanagawa Children's Medical Center,

²Dept. of Endo. and Metab., Kanagawa Children's Medical Center,

³Clin. Research Institute, Kanagawa Children's Medical Center

EO2-4 A case of X;2 translocation: a mild phenotype possibly associated with X chromosome inactivation spreading to the translocated autosomal region

Atsushi Hattori^{1,2}, Naoya Morisada³, Yasuko Ogiwara¹, Kayo Ozaki⁴, Kiiiko Iketani⁴,

Masayo Kagami¹, Maki Fukami^{1,2}

¹Dept. of Mol. Endocrinol., Natl. Res. Inst. for Child Health and Dev.,

²Div. of Divers. Res., Natl. Res. Inst. for Child Health and Dev.,

³Dept. of Clin. Genet., Kobe Children's Hosp.,

⁴Dept. of Endocrinol. and Metab., Kobe Children's Hosp.

10月12日(土) 8:20 ~ 9:00 第4会場 (3F G304)

Chairs Kenichi Kashimada (Department of Pediatrics and Developmental Biology, Institute of Science Tokyo (Tokyo Medical and Dental University))
Misako Okuno (Department of Pediatrics, Hyogo Medical University)

EO3-1 DNA methylation epismutation in Silver-Russell syndrome

Kaori Hara¹, Tomoko Kawai², Maki Fukami¹, Masayo Kagami¹

¹Dept. of Molecular Endocrinology, Nat'l Res. Inst. for Child Health and Development,

²Dept. of Maternal Fetal Biology, Nat'l Res. Inst. for Child Health and Development

EO3-2 Withdrawn

EO3-3 Withdrawn

EO3-4 Expression of intracellular glucocorticoid metabolizing enzymes correlates initial glucocorticoids responsiveness in childhood acute lymphoblastic leukemia

Shuji Sai^{1,2}, Shinsuke Hirabayashi³, Yusuke Saito³, Karen Chapman⁴, Atsushi Manabe³

¹Institute for Genetic Medicine, Hokkaido Univ., ²Dept. of Pediatr., Teine-Keijinkai Hospital,

³Dept. of Pediatr., Hokkaido Univ., ⁴QMRI, Univ. of Edinburgh

10月12日(土) 9:30 ~ 10:20 第2会場 (3F G301+302)

Chairs Satoshi Okada (Department of Pediatrics, Hiroshima University)
Reiko Horikawa (Division of Endocrinology and Metabolism, National Center for Child Health and Development)

EO4-1 Obesity in Survivors of Childhood-Onset Craniopharyngioma - Impact of Parental Body Mass Index at Craniopharyngioma Diagnosis ?

Julia Beckhaus^{1,2}, Maria Eveslage³, Brigitte Bison⁴, Carsten Friedrich¹, Hermann L. Müller¹

¹Dept. of Pediatr., Univ. Childrens Hosp., Klinikum Oldenburg,

²Divi. of Epidemiology and Biometry, Carl von Ossietzky Universität Oldenburg School IV - School of Medicine and Health Sciences, Oldenburg, Germany,

³Inst. of Biostatistics and Clin. Research, Univ. of Münster, Münster, Germany,

⁴Univ. of Augsburg, Faculty of Med., Diagnostic and Interventional Neurorad, Augsburg, Germany

EO4-2 Association of Vitamin D Metabolites with Cardiovascular Risk Factors in Patients with Childhood-Onset Craniopharyngioma

Yunsoo Choe¹, Da Hye Lee², Yun Jeong Lee³, Hwa Young Kim³, Kyunghoon Lee⁴, Junghan Song⁴, Choong Ho Shin³, Young Ah Lee³

¹Dept. of Pediatr., Hanyang Univ. Sch. of Med. / Hanyang Univ. Guri Hosp.,

²Dept. of Pediatr., Chung Ang Univ. Sch. of Med.,

³Dept. of Pediatr., Seoul Nat. Univ. Sch. of Med.,

⁴Dept. of Lab. Med., Seoul Nat. Univ. Sch. of Med.

- EO4-3 Fatigue in Patients with Hypothalamic Syndrome – A Cross-Sectional Analysis of the German Childhood-Onset Craniopharyngioma Cohort**
 Julia Beckhaus^{1,2}, Jale Özyurt^{3,4}, Aylin Mehren^{3,5}, Carsten Friedrich¹, Hermann L. Müller¹
¹Dep. of Pediatr. and Pediatr. Hematol. / Oncol., Univ. Children's Hosp, Carl von Ossietzky Univ. Oldenburg, Klinikum Oldenburg AöR, Oldenburg, Germany,
²Div. of Epidemiol. and Biometry, Carl von Ossietzky Univ. Oldenburg, Oldenburg, Germany,
³Dep. of Psychol., School of Med. and Health Sci., Carl von Ossietzky Univ. Oldenburg, Oldenburg, Germany,
⁴Res. Center Neurosensory Sci., Carl von Ossietzky Univ., Oldenburg, Germany,
⁵Dep. of Psych. und Psychother, Univ. Hosp. Bonn, Bonn, Germany
- EO4-4 Epidemiology of Hypothalamic Obesity in Craniopharyngioma and Other Rare Sellar and Suprasellar Tumors**
 Julian Witte¹, Bastian Surmann¹, Manuel Batram¹, Markus Weinert¹, Mathias Flume², Nicolas Touchot³, Julia Beckhaus^{4,5}, Carsten Friedrich⁴, Hermann L. Müller⁴
¹Vandage GmbH, Bielefeld, Germany, ²Gene Access GmbH, Dortmund, Germany,
³Rhythm Pharmaceuticals, Boston MA, USA,
⁴Univ. Children's Hosp., Carl von Ossietzky Univ. Oldenburg, Klinikum Oldenburg AöR, Dep. of Pediatr. and Pediatr. Hematol. / Oncol, Oldenburg, Germany,
⁵Carl von Ossietzky Univ Oldenburg, Div of Epidemiol and Biometry, Oldenburg, Germany
- EO4-5 Daytime Sleepiness and Health-related Quality of Life in Patients with Childhood-onset Craniopharyngioma**
 Laura Verena Mann-Markutzky¹, Julia Beckhaus^{1,2}, Jale Oezjurt³, Friedrich Carsten¹, Hermann L. Müller¹
¹Univ. Children's Hosp., Carl von Ossietzky Univ. Oldenburg, Dep. of Pediatr. and Pediatr. Hematol. / Oncol., Klinikum Oldenburg AöR, Oldenburg, Germany,
²Carl von Ossietzky Univ. Oldenburg School VI - School of Med. and Health Sci., Div. of Epidemiol. and Biometry, Oldenburg, Germany,
³Carl von Ossietzky Univ. Oldenburg School IV - School of Med. and Health Sci. Biol Psych. Lab., Dep. of Psychology, Oldenburg, Germany

一般口演 1 下垂体・成長 1

10月10日(木) 10:40～11:40 第1会場 (1F G2)

座長 磯島 豪 (虎の門病院 小児科)

宇都宮 朱里 (広島市立北部医療センター安佐市民病院 小児科・がんゲノム診療科)

O1-1-1 exon 3 を欠落したマウス GH は顕性遺伝性 GH1 遺伝子異常症と同様の優性阻害効果を示す

有安 大典^{1,2}、徳留 遼²、島田 颯²、芝田 晋介³、長谷川 行洋⁴、長谷川 奉延⁵、
 鳴海 覚志⁵、荒木 喜美²

¹川崎市立川崎病院 小児科、²熊本大学生命資源研究・支援センター 疾患モデル分野、

³新潟大学大学院医歯学総合研究科組織学分野 医学部顕微解剖学教室、

⁴東京都立小児総合医療センター 内分泌代謝科、⁵慶應義塾大学医学部 小児科学教室

O1-1-2 成人期 GH 治療で自覚症状の改善を認めた GH1 異常症 (IGHD2) の家族例

松田 花穂^{1,2}、天野 直子^{1,2}、長谷川 行洋^{1,3}

¹東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、²慶應義塾大学医学部小児科学教室、

³多摩北部医療センター小児科

★ O1-1-3 近接性標識法を用いた Pit-1 β ドメイン機能解析

秋葉 和壽^{1,2}、松原 圭子^{1,2}、深見 真紀¹、鳴海 覚志³

¹国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、

²国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室、³慶應義塾大学医学部小児科学教室

- O1-1-4 1.5歳時の良質な夜間睡眠は、3歳までの身長増加に正の影響を及ぼす**
妹尾 慎太郎¹、清水 敬太¹、山口 由起子¹、藤本 正伸¹、増本 年男²、砂田 寛司³、
野間 久史⁴、難波 範行¹
¹鳥取大学医学部周産期・小児医学分野、²鳥取大学医学部健康政策医学分野、
³鳥取大学医学部新規附属病院新規医療研究推進センター、⁴統計数理研究所 データ科学研究系
- O1-1-5 髄液中PLAPと抗ラブフィリン3A抗体が陽性の中枢性尿崩症例**
末岡 秀文¹、石井 玲¹、大山 和紗¹、山本 雅樹¹、岩佐 真実²、中村 慧³、馬見 紗奈⁴、
田中 藤樹⁵、椛村 益久⁶、津川 毅¹
¹札幌医科大学小児科学講座、²浦河赤十字病院小児科、³岩見沢市立病院小児科、
⁴苫小牧市立病院小児科、⁵国立病院機構北海道医療センター小児科、
⁶藤田医科大学内分泌代謝・糖尿病内科
- O1-1-6 抗ラブフィリン3A抗体陽性リンパ球性漏斗神経下垂体後葉炎
小児3例の下垂体前葉機能の評価**
柴田 奈央¹、小貫 孝則¹、澤野 堅太郎¹、入月 浩美^{1,2}、小川 洋平¹、椛村 益久³、
長崎 啓祐⁴
¹新潟大学医歯学総合病院小児科、²新潟大学総合病院遺伝医療センター、
³藤田医科大学 代謝糖尿病内科学、⁴長野県立こども病院 内分泌代謝科

一般口演 2 骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患 1

10月10日(木) 10:40～11:40 第2会場(3F G301+302)

座長 長谷川 高誠(岡山大学病院 小児科)

菅野 潤子(東北大学大学院医学系研究科 発生・発達医学講座 小児病態学分野)

- O1-2-1 軟骨無形成症に対するボソリチドの治療効果の検証ー成長ホルモンとの比較ー**
原田 大輔、上山 薫、柏木 博子、清野 佳紀
地域医療機能推進機構(JCHO)大阪病院 小児科
- O1-2-2 乳児期早期からのボソリチド投与で大後頭孔狭窄が改善した軟骨無形成症**
明利 聡瑠¹、松山 美静代¹、松元 文孝²、盛武 浩¹
¹宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野、
²宮崎大学医学部臨床神経科学講座脳神経外科学分野
- O1-2-3 当院の低年齢軟骨無形成症患者16名におけるボソリチド療法の後方視的検討**
足立 夏帆、佐藤 綾美、千葉 有美子、田中 裕之
東京大学医学部附属病院小児科
- O1-2-4 乳児期早期のボソリチド皮下注射による心血管有害事象の2例**
小田 洋一郎¹、西岡 篤史¹、足立 夏帆²、田中 裕之²
¹茅ヶ崎市立病院小児科、²東京大学医学部附属病院小児科

O1-2-5 Persistence of Growth Promoting Effects in Children with Achondroplasia Up to 7 Years: Update from a Phase 2 Extension Study with Vosoritide

Hirofumi Tokuoka¹, Julie Hoover-Fong², Melita Irving³, Carlos A Bacino⁴, Joel Charrow⁵, Carlos Prada⁶, Valerie Cormier-Daire⁷, Lynda E Polgreen⁸, Paul Harmatz⁹, Sajda Ghani¹⁰, Andrea Low¹¹, Jonathan Day¹⁰, John Phillips¹², Ravi Savarirayan¹³

¹BioMarin Pharmaceutical Japan K.K., Tokyo, Japan,

²Johns Hopkins University School of Medicine, Baltimore, MD, USA,

³Guy's and St. Thomas' NHS Foundation Trust, Evelina Children's Hospital, London, UK,

⁴Baylor College of Medicine, Houston, TX, USA,

⁵Emory University, Atlanta, GA, USA,

⁶Ann and Robert H. Lurie Children's Hospital of Chicago, Chicago, IL, USA,

⁷Reference Center for Skeletal Dysplasia, Paris University, Hopital Necker-Enfants Malades, Paris, France,

⁸Lundquist Institute for Biomedical Innovation at Harbor-UCLA Medical Center, David Geffen School of Medicine - UCLA, Los Angeles, CA, USA,

⁹UCSF Benioff Children's Hospital Oakland, Oakland, CA, USA,

¹⁰BioMarin (U.K.) Limited, London, UK,

¹¹BioMarin Pharmaceutical Inc., Novato, CA, USA,

¹²Vanderbilt University Medical Center, Nashville, TN, USA,

¹³Murdoch Children's Research Institute, Royal Children's Hospital, and University of Melbourne, Parkville, Australia

O1-2-6 Persistent growth-promoting effects of vosoritide in children with achondroplasia is accompanied by improvement in the physical aspects of their quality of life

Takuo Kubota¹, Louise Tofts², Melita Irving³, William R Wilcox⁴, Carlos A Bacino⁵, Julie E Hoover-Fong⁶, Paul Harmatz⁷, Frank Rutsch⁸, Ricki S Carroll⁹, Lynda E Polgreen¹⁰, Klaus Mohnike¹¹, Joel Charrow¹², Carlos Prada¹², Daniel Hoernschemeyer¹³, Keiichi Ozono¹, Yasemin Alanay¹⁴, Paul Arundel¹⁵, Yumiko Kotani¹⁶, Natsuo Yasui¹⁶, Klane K White¹⁷, Shelley Brandstetter¹⁸, Howard M Saal¹⁹, Antonio Leiva-Gea²⁰, Hiroshi Mochizuki²¹, Asako Tajima²¹, Donald Basel²², Richard Rowell²³, Alice Huntsman-Labed²⁴, Jonathan Day²⁴, Ravi Savarirayan²⁵

¹Dept. of Pediatr., Osaka Univ. Sch. of Med.,

²Kids Rehab., The Children's Hosp. at Westmead, Westmead, Australia,

³Guy's and St. Thomas' NHS Foundation Trust, Evelina Children's Hosp., London, UK,

⁴Emory Univ., Atlanta, GA, USA,

⁵Baylor College of Med., Houston, TX, USA,

⁶Johns Hopkins Univ. Sch. of Med., Baltimore, MD, USA,

⁷UCSF Benioff Children's Hosp. Oakland, Oakland, CA, USA,

⁸Dept. General Pediatr. Muenster Univ. Children's Hosp., Münster, Germany,

⁹Nemours Children's Hosp., Wilmington, DE, USA,

¹⁰Lundquist Institute for Biomedical Innovation at Harbor-UCLA Medical Center, Torrance, CA, USA,

¹¹Otto-von-Guericke Universität, Universitätskinderklinik, Magdeburg, Germany,

¹²Ann and Robert H. Lurie Children's Hosp. of Chicago, Chicago, IL, USA,

¹³University of Missouri-Columbia, Columbia, SC, USA,

¹⁴Acibadem Mehmet Ali Aydinlar Univ., School of Medicine, Istanbul, Turkey,

¹⁵Sheffield Children's NHS Foundation Trust, Sheffield Children's Hosp., Sheffield, UK,

¹⁶Tokushima Univ. Hosp., Tokushima, Japan,

¹⁷Colorado Children's Hosp., Aurora, CO, USA,

¹⁸Seattle Children's Hosp., Seattle, WA, USA,

¹⁹Cincinnati Children's Hosp. Medical Center, Univ. of Cincinnati College of Med., Cincinnati, OH, USA,

²⁰Hospital Universitario Virgen de la Victoria, Málaga, Spain,

²¹Saitama Children's Hosp., Saitama, Japan,

²²Medical College of Wisconsin, Milwaukee, WI, USA,

²³BioMarin Pharmaceutical Inc., Novato, CA, USA,

²⁴BioMarin (U.K.) Limited, London, United Kingdom,

²⁵Murdoch Children's Research Institute, Royal Children's Hosp., and Univ. of Melbourne, Parkville, Victoria, Australia

10月10日(木) 10:40～11:40 第3会場 (3F G303)

座長 鈴木 潤一 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)
山本 幸代 (産業医科大学 医学教育改革推進センター)

O1-3-1 HNF4A アイソフォームに着目した新規 HNF4A バリエーションの機能解析

森川 俊太郎¹、Ko Hui Ling²、Ren Ee Chee^{2,3}、原 和也⁴、金子 直哉¹、菱村 希¹、
遠藤 愛¹、中村 明枝¹、真部 淳¹

¹北海道大学大学院医学研究院小児科学分野、²Singapore Immunology Network、
³Department of Microbiology and Immunology, Yong Loo Lin School of Medicine, National
University of Singapore, Singapore、
⁴市立千歳市民病院小児科

O1-3-2 学校検尿を契機に診断されたインスリン受容体遺伝子異常の1例

松山 美静代、明利 聡瑠、盛武 浩
宮崎大学医学部小児科

O1-3-3 学童期の黒色表皮腫を機に診断されたインスリン受容体異常症 A 型の1例

石田 竜之¹、茂木 桜¹、越智 彩子¹、永原 敬子¹、安達 昌功¹、高澤 啓²、
鹿島田 健一²、安達 恵利子²

¹昭和大学医学部小児科、²東京医科歯科大学医学部小児科

O1-3-4 6q24 関連新生児一過性糖尿病の遺伝学的原因別長期臨床経過

中村 紗佑里^{1,2,3}、森 潤⁴、浦川 立貴¹、樋口 真司⁴、加藤 歩⁵、松田 史佳⁶、
糸永 知代⁶、青木 政子⁷、内田 登⁸、堀川 玲子⁹、石黒 精²、深見 真紀¹、鏡 雅代¹

¹成育医療研究センター分子内分泌研究部、²成育医療研究センター教育研修センター、
³東北大学医学部次世代小児医療講座、⁴大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、
⁵仙台市立病院小児科、⁶大分大学医学部小児科、⁷日本大学医学部小児科、
⁸済生会宇都宮病院小児科、⁹成育医療研究センター内分泌・代謝科

O1-3-5 α -グルコシダーゼ阻害 (α -GI) 薬併用が奏効したと考えられる肝外門脈閉塞症を合併した 1A 型糖尿病の症例

石丸 雅矩¹、富田 雄一郎¹、中野 さつき²、山田 洋平³

¹東海大学医学部附属八王子病院、²慶應義塾大学医学部小児科学教室、
³慶應義塾大学医学部小児外科学教室

O1-3-6 2000 年代における東京都学校検尿糖尿病検診での糖尿病発見率の傾向変化についての検討

鈴木 潤一¹、寺田 啓輝¹、田邊 聡美¹、峯 佑介¹、青木 政子¹、浦上 達彦¹、
森岡 一朗

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

10月10日(木) 16:55～17:55 第1会場 (1F G2)

座長 小山 さとみ (獨協医科大学埼玉医療センター小児科)
安達 昌功 (昭和大学医学部小児科)

O1-4-1 乳児期から DDAVP で治療した部分型先天性腎性尿崩症の男児

高橋 一誠、吉本 拓郎、杉田 恵美、小野 真、金澤 正樹
千葉市立海浜病院小児科

★ O1-4-2 先天性腎性尿崩症に対するデスマプレシンの使用実態・有効性・安全性に関する全国調査
池側 研人^{1,2}、藤本 正伸³、青山 幸平⁴、中山 尋文⁵、窪田 拓生⁵、長崎 啓祐⁶、
永沼 節子⁷、小野 真⁸、樋口 真司⁹、水野 晴夫¹⁰、神崎 晋¹¹、森川 和彦²、
天野 直子^{1,12}、長谷川 行洋^{1,13}

¹ 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、

² 東京都立小児総合医療センター臨床研究支援センター、

³ 鳥取大学医学部周産期・小児医学分野、

⁴ 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、

⁵ 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、⁶ 長野県立こども病院内分泌代謝科、

⁷ 熊本労災病院小児科、⁸ 千葉市立海浜病院小児科、

⁹ 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科、¹⁰ 藤田医科大学医学部小児科学、

¹¹ 旭川荘療育・医療センター、¹² 慶應義塾大学医学部小児科学教室、

¹³ 多摩北部医療センター小児科

O1-4-3 DICER1 遺伝子変異を伴う下垂体芽腫より ACTH 依存性クッシング症候群を呈した乳児の 1 例
梁 偉博¹、藤林 俊助¹、千葉 悠太¹、望月 弘¹、会津 克哉¹、康 勝好²、高田 啓志²、
福岡 講平²

¹ 埼玉県立小児医療センター 代謝内分泌科、² 埼玉県立小児医療センター 血液腫瘍内科

O1-4-4 多尿の鑑別から診断に至った高カルシウム尿症と腎石灰化を伴う家族性低マグネシウム血症の
一例

籾生 なおみ^{1,3}、深江 俊愛¹、上原 健史¹、滝崎 奈穂¹、井澤 雅子¹、花川 純子¹、
松村 壮史²、室谷 浩二^{1,3}

¹ 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、² 神奈川県立こども医療センター腎臓内科、

³ 慶應義塾大学医学部小児科

O1-4-5 習慣性（心因性）多飲症の臨床像：単機関後方視的コホート研究

赤星 祥伍^{1,2}、黒川 祥子¹、池側 研人^{1,2}、長谷川 行洋¹、天野 直子¹

¹ 東京都立小児総合医療センター 内分泌・代謝科、

² 東京都立小児総合医療センター 臨床試験科

O1-4-6 脳腫瘍治療後の小児 GHD における GH 初期投与量の減量の要否に関連する因子の検討

福田 太郎、福嶋 真依、石川 琢也、加藤 俊輔、水谷 陽貴、濱島 崇

あいち小児保健医療総合センター

一般口演 5 肥満・やせ・栄養・脂質代謝

10月10日（木） 16:55～17:55 第2会場（3F G301 + 302）

座長 井ノ口 美香子（慶應義塾大学保健管理センター）

都 研一（地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院内分泌・代謝科）

O1-5-1 思春期女子における初経時期とメンタルヘルスの関連

庄司 保子^{1,2}、山田 正明^{1,2}、立瀬 剛志¹、関根 道和^{1,2}

¹ 富山大学学術研究部医学系疫学健康政策学講座、

² 富山大学地域連携機構地域医療・保健支援部門

O1-5-2 脂肪肝を伴う小児肥満症患者の脾腫は肝線維化を反映しない可能性がある

伊藤 駿、植田 有紀子、麻生 敬子、佐藤 真理

東邦大学医療センター大森病院

O1-5-3 抗 ZSCAN1 抗体陽性であった ROHHAD 症候群 2 例の検討

永松 扶紗¹、笹岡 大記¹、トカン ヴラッド²、虫本 雄一²、阿南 浩太郎¹、

宇都宮 朱里³、中村 公俊¹

¹ 熊本大学病院小児科、² 九州大学病院小児科、³ 広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科

O1-5-4 Angiotensin 1-7 は肥満起因性の脂肪組織炎症を改善する

井上 望¹、宮垣 知史¹、山口 美穂子¹、河辺 泰宏¹、森元 英周¹、福原 正太¹、森 潤²、中島 久和¹、杉本 哲¹

¹ 京都府立医科大学大学院医学研究科小児科学、

² 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科

O1-5-5 プラダー・ウィリ症候群における過食の実態および肥満との関連性の検討

橘 真紀子^{1,10}、大戸 佑二^{2,10}、鹿島田 健一^{3,10}、石井 智弘^{4,10}、高橋 裕^{5,10}、室谷 浩二^{6,10}、青木 洋子^{7,10}、黒澤 健司^{6,10}、緒方 勤^{8,10}、川井 正信^{9,10}

¹ 大阪大学大学院医学系研究科小児科、² 獨協医科大学埼玉医療センター、³ 東京医科歯科大学、

⁴ 慶應義塾大学、⁵ 奈良県立医科大学、⁶ 神奈川県立こども医療センター、⁷ 東北大学、

⁸ 浜松医科大学、⁹ 大阪母子医療センター、

¹⁰ 難治性疾患政策研究事業 成長障害・性分化疾患を伴う内分泌症候群（プラダーウィリ症候群・スーナン症候群を含む）の診療水準向上を目指す調査研究班

O1-5-6 低身長児の腹囲身長比を用いた肥満評価について

望月 貴博、西垣 五月

希望の森成長発達クリニック

一般口演 6 症候群・遺伝子・その他

10月10日（木） 16:55～17:55 第3会場（3F G303）

座長 高澤 啓（東京医科歯科大学発生発達病態学分野 / 小児科）

松原 圭子（国立成育医療研究センターダイバーシティ研究室）

★ O1-6-1 ロングリードシーケンス解析による Beckwith-Wiedemann 症候群 2 家系での構造異常およびメチル化レベルの検討

増渕 颯¹、浦川 立貴¹、小崎 里華²、矢ヶ崎 英晃³、副島 英伸⁴、緒方 勤⁵、深見 真紀¹、鏡 雅代¹

¹ 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、² 国立成育医療研究センター 遺伝診療科、

³ 山梨大学医学部 小児科、⁴ 佐賀大学医学部医学科 分子生命科学講座、

⁵ 浜松医療センター 小児科

O1-6-2 マイクロアレイ染色体検査が診断に有用であった 20 番染色体母性片親性ダイソミーの 1 例

藤本 英ミレナ¹、鈴木 敦詞^{2,4}、福井 理史¹、山本 幸佑¹、福島 秀晃¹、今和泉 幸恵¹、堀 いくみ¹、六鹿 泰弘¹、小久保 稔¹、吉田 あや^{3,4}、大矢知 真希⁴、山口 直哉⁴、青山 幸平⁴

¹ JA 愛知厚生連海南病院小児科、² 岐阜県立多治見病院小児科、³ 一宮市立市民病院小児科、

⁴ 名古屋市立大学大学院医学系研究科新生児・小児医学分野

O1-6-3 膵神経内分泌腫瘍を合併した Turner 症候群

大串 健一郎¹、安藏 慎¹、曾根田 瞬¹、大坪 毅人²、小池 淳樹³、古田 繁行⁴、清水 直樹¹

¹ 聖マリアンナ医科大学小児科、² 聖マリアンナ医科大学消化器・一般外科、

³ 聖マリアンナ医科大学病理診断科、⁴ 聖マリアンナ医科大学小児外科

O1-6-4 卵巣腫瘍と虫垂神経内分泌腫瘍を同時に発症した Smith-Magenis 症候群の 1 例

市橋 洋輔¹、佐藤 武志²、西尾 浩³、鳴海 覚志¹、石井 智弘¹、長谷川 奉延¹

¹ 慶應義塾大学医学部小児科、² ペンシルバニア大学獣医学部、³ 慶應義塾大学医学部産婦人科

O1-6-5 CTSA 遺伝子 c.692+3A>G は日本における成人型ガラクトシアリドーシスの創始者バリエーションである

土岐 真智子¹、角田 和繁²、小須賀 基通³、奥山 虎之⁴、三春 晶嗣¹、長谷川 奉延⁵、山澤 一樹^{1,6}

¹ 国立病院機構東京医療センター小児科、

² 国立病院機構東京医療センター臨床研究センター視覚研究部、

³ 国立成育医療研究センター遺伝診療科、⁴ 埼玉医科大学ゲノム医療科、

⁵ 慶應義塾大学医学部小児科学教室、⁶ 国立病院機構東京医療センター遺伝診療科

O1-6-6 乳幼児期から発達障害、成長促進を呈し、網羅的遺伝子解析により確定診断に至った Malan 症候群の男児例

中野 由佳子¹、山本 賢一^{1,2}、大幡 泰久¹、藤原 誠¹、平田 郁子^{1,4}、橘 雅弥^{1,4}、
北島 康司¹、窪田 拓生¹、大藪 恵一³

¹ 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、

² 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 成育小児科学研究室、

³ 医誠会国際総合病院 難病医療推進センター、⁴ 大阪大学大学院連合小児発達学研究所

一般口演 7 糖代謝・糖尿病・低血糖 2

10月11日(金) 9:00～10:00 第1会場 (1F G2)

座長 細川 悠紀 (倉敷中央病院小児科)

内木 康博 (国立成育医療センター内分泌・代謝科)

O2-7-1 重症先天性高インスリン血症 3 症例に対する徐放型ソマトスタチンアナログ製剤の有用性

川村 遥¹、本川 未都里¹、浦島 真由美²、笹岡 大記³、松本 志郎³、伊達木 澄人¹

¹ 長崎大学病院小児科、² 嬉野医療センター小児科、³ 熊本大学病院小児科

O2-7-2 耐糖能異常が顕在化しオクトレオチド LAR を中止し得た ABCC8 両アレル変異による先天性高インスリン血症の 1 例

鈴木 滋¹、泉 健吾¹、山村 日向子¹、國米 崇秀^{1,2}、棚橋 祐典^{1,3}、依藤 亨^{1,4}、高橋 悟¹

¹ 旭川医科大学小児科、² 網走厚生病院小児科、³ 市立稚内病院小児科、

⁴ 伊達赤十字病院内科・総合内科

O2-7-3 DZX 不応性乳児びまん型 CHI の 2 例：パシレオチド使用症例と膵垂全摘に至った症例

樋口 真司、岩田 康平、渡部 瑤、山田 勇気、森 潤

大阪市立総合医療センター 小児代謝内分泌・腎臓内科

O2-7-4 膵垂全摘後に発症した糖尿病に対し GLP-1 受容体作動薬が有効であった先天性高インスリン血症の 1 例 (続報)

茂木 桜¹、安達 昌功¹、永原 敬子¹、越智 彩子¹、石田 竜之¹、豊田 純也²、

水野 克己¹

¹ 昭和大学病院、² 伊勢原協同病院

O2-7-5 先天性複合型下垂体前葉機能低下症に高インスリン血症を合併し、20p11.2 染色体欠失が判明した男児例

石井 加奈子、都 研一

福岡市立こども病院内分泌・代謝科

O2-7-6 高インスリン性低血糖を契機に先天性門脈体循環短絡と診断した新生児

近藤 大樹、和田 泰格、石川 秀太、下館 歩惟、土屋 繁国、高清水 奈央、鳥谷 由貴子、

外館 玄一郎、松本 敦、赤坂 真奈美

岩手医科大学附属病院

一般口演 8 甲状腺・骨代謝

10月11日(金) 9:00～10:00 第2会場 (3F G301 + 302)

座長 松下 理恵 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康解析学講座薬剤疫学分野)

大幡 泰久 (大阪大学大学院医学系研究科 小児科学)

★ O2-8-1 DUOX2 異常症による先天性甲状腺機能低下症患者の内服中止時期と遺伝子型の関連の検討

上原 絵理香^{1,2}、阿部 清美^{3,4}、中尾 佳奈子¹、服部 淳^{1,5}、松原 圭子^{1,5}、深見 真紀^{1,5}、

鳴海 覚志^{1,3}、室谷 浩二⁶

¹ 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、² 東北大学大学院次世代小児医療分野、

³ 慶應義塾大学医学部小児科、⁴ 東京都済生会中央病院小児科、

⁵ 国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室、

⁶ 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科

- O2-8-2 舌根部と左傍咽頭部に二重異所性甲状腺を有する一過性先天性甲状腺機能低下症の一例**
木内 歌穂¹、堀 尚明¹、高橋 修平¹、草野 知江子¹、鳴海 覚志²、石井 智弘²、長谷川 奉延²
¹SUBARU 健康保険組合太田記念病院小児科、²慶應義塾大学医学部小児科学教室
- O2-8-3 健康な日本人小児ダウン症候群における甲状腺ホルモン (FT4、TSH) の reference intervals**
小西 絢子^{1,2}、植田 美紀子³、岡本 伸彦³、位田 忍⁴、恵谷 ゆり¹、川井 正信^{1,5}
¹大阪母子医療センター消化器内分泌科、²大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学、³大阪母子医療センター遺伝診療科、⁴大阪母子医療センター臨床検査科、⁵大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門
- O2-8-4 ヒト人工多能性幹細胞由来軟骨細胞における IGF1R 遺伝子の発現変化**
藤本 正伸¹、妹尾 慎太郎¹、山口 由起子¹、足立 香織²、難波 範行¹
¹鳥取大学医学部周産期・小児医学分野、²鳥取大学研究推進機構研究基盤センター
- O2-8-5 HSPG2 両アレル性バリエント (p,Gly3324Arg) を同定した Dyssegmental dysplasia の同胞例**
村上 千晶、本川 未都里、川村 遙、伊達木 澄人
長崎大学病院小児科
- O2-8-6 フォローアップミルクの多飲が症候性高カルシウム血症を誘発したと考えられた CYP24A1 異常症**
岩淵 蒼太、西條 直也、曾木 千純、上村 美季、島 彦仁、内田 奈生、菊池 敦生、菅野 潤子
東北大学病院小児科

一般口演 9 下垂体・成長 2 (治験, 製剤選択)

10月11日(金) 9:00 ~ 10:00 第3会場 (3F G303)

座長 鹿島田 健一 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野 (小児科))
中村 明枝 (国立成育医療研究センター研究所)

- O2-9-1 視床下部における時間依存的変化のマウスモデル解析**
森 雅樹
国立成育医療センター小児生理学研究部
- O2-9-2 初診時に無汗症を呈した脳腫瘍の4例**
河原 幸平¹、岩山 秀之^{2,3}、北川 幸子¹、高木 潤子⁴、大嶋 雄一郎⁵、渡邊 督⁶、伊藤 嘉規²、奥村 彰久²
¹総合大雄会病院、²愛知医科大学医学部小児科学講座、³ほしがおか成長クリニック、⁴愛知医科大学医学部内分泌・代謝内科学講座、⁵愛知医科大学医学部皮膚科学講座、⁶愛知医科大学医学部脳神経外科学講座
- O2-9-3 成人身長まで達した小児頭蓋咽頭腫 31 人の体格**
向山 祐理¹、森口 駿¹、滝沢 文彦¹、小川 敦¹、小川 哲史¹、伊藤 純子¹、横谷 進¹、福原 紀章²、岡田 満夫²、西岡 宏²、山田 正三³、磯島 豪¹
¹虎の門病院小児科、²虎の門病院間脳下垂体外科、³森山脳神経センター間脳下垂体センター
- O2-9-4 GH 連日製剤からソマブシタンへ変更後に成長率の低下を認めた頭蓋咽頭腫術後汎下垂体機能低下症の2例**
尾崎 佳代、西藤 知城、柏坂 舞、池谷 紀衣子、松本 真明
兵庫県立こども病院 代謝内分泌科

O2-9-5 成長ホルモン分泌不全性低身長症患者における週 1 回投与ソマプシタンの REAL4 第 3 相臨床試験 3 年間の結果

森 潤¹, Miller Bradley², Blair Joanne³, Hojby Michael⁴, Maniatis Aristides⁵,
Bottcher Volker⁶, Kim Ho-Seong⁷, Polak Michel⁸, 堀川 玲子⁹

¹ 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科,

² Div. of Pediatr. Endocrinol., Univ. of Minnesota Med. Sch., MHealth Fairview Masonic Children's Hosp.,

³ Dept. of Endocrinol., Alder Hey Children's NHS Foundation Trust, ⁴ Novo Nordisk A/S,

⁵ Rocky Mountain Pediatr. Endocrinol., Centennial,

⁶ Div. of Pediatr. Endocrinol. and Metab., MVZ Endokrinologikum Frankfurt am Main,

⁷ Dept. of Pediatr., Severance Children's Hosp., Inst. of Endocrinol., Yonsei Univ. Coll. of Med.,

⁸ Dept. of Pediatr. Endocrinol., Gyn., and Diabetol., Necker-Enfants Malades Univ. Hosp., Paris Cité Univ., Public Assistance-Paris Hosp.,

⁹ Div. of Endocrinol. and Metab., National Center for Child Health and Development

O2-9-6 GH 分泌不全性低身長症のソマプシタン REAL4 第 3 相臨床試験における診断時 GH ピーク値別サブグループ解析

川井 正信¹, Backeljauw Philippe², Boettcher Claudia³, Hojby Michael⁴,

Kelepouris Nicky⁵, Jeppesen Mathias⁴, 森 潤⁶, Pietropoli Alberto⁷, Miller Bradley⁸

¹ 大阪母子医療センター消化器・内分泌科,

² Cincinnati Children's Hosp. Med. Center, Univ. of Cincinnati College of Med.,

³ Paediatr. Endocrinol. and Diabetol., Julie-von-Jenner Haus, Univ. of Bern Faculty of Med.,

⁴ Novo Nordisk A/S, ⁵ Novo Nordisk Inc.,

⁶ 大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科, ⁷ Novo Nordisk Health Care AG,

⁸ Div. of Endocrinol., Dept. of Pediatr., Univ. of Minnesota Med. Sch., M Health Fairview Masonic Children's Hosp.

一般口演 10 下垂体・成長 3

10月11日(金) 14:20～15:20 第1会場(1F G2)

座長 鞆嶋 有紀(島根大学医学部小児科学教室)

水野 晴夫(藤田医科大学医学部小児科学)

O2-10-1 SHOX と性ステロイド非依存性身長性差

緒方 勤^{1,2}、服部 淳³、深見 真紀³

¹ 浜松医療センター、² 浜松医科大学、³ 国立成育医療研究センター分子内分泌研究部

★ O2-10-2 SHOX 異常症における低身長患者に対するヒト成長ホルモン製剤の長期臨床試験成績

伊達木 澄人¹、緒方 勤^{2,3}、山本 辰義⁴、平井 秀明⁴、茨木 亮⁴、高棹 直子⁴、
野田 万鈴⁴

¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 小児科学、² 浜松医科大学医学部、³ 浜松医療センター、
⁴ JCR ファーマ株式会社

O2-10-3 幼児期に X 線写真での橈骨弯曲を契機に診断した SHOX 異常症の 2 例

泉 健吾¹、山村 日向子¹、國米 崇秀²、棚橋 祐典³、鈴木 滋¹、向井 徳男⁴、西村 玄⁵、
高橋 悟¹

¹ 旭川医科大学小児科、² 網走厚生病院小児科、³ 市立稚内病院小児科、⁴ 旭川赤十字病院小児科、
⁵ 陽和会武蔵野病院放射線科

O2-10-4 metacarpophalangeal pattern profile が診断に有用であった SHOX 異常症の 1 例

原 洋祐

伊那中央病院小児科

O2-10-5 父由来の SHOX コード領域欠失を有する SHOX 異常症の姉弟例

安部 希^{1,2}、トカン ヴラッド²、島本 太郎²、虫本 雄一²

¹ 山口県済生会下関総合病院小児科、² 九州大学病院小児科

O2-10-6 IGF1R 異常症の臨床像と成長ホルモン治療の効果

～日本小児内分泌学会アンケート調査のまとめ

鞆嶋 有紀¹、和田 啓介¹、山本 慧¹、藤本 正伸²、難波 範行²、竹谷 健¹

¹ 島根大学医学部小児科、² 鳥取大学医学部周産期・小児医学

一般口演 11 周産期・新生児

10月11日(金) 14:20～15:20 第2会場 (3F G301 + 302)

座長 石井 智弘 (慶應義塾大学小児科)

河井 昌彦 (京都大学大学院医学研究科 新生児学講座)

★ O2-11-1 LC-MS/MS による日齢 1-2 の血清テストステロン・エストラジオール値の経時的変化・性差の検討

今野 麻里絵^{1,2}、池側 研人¹、本多 泉³、谷口 義実³、長谷川 行洋^{1,4}

¹ 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、² 慶應義塾大学医学部小児科、

³ 東京都立多摩総合医療センター産婦人科、⁴ 東京都立多摩北部医療センター小児科

O2-11-2 早産児における ECLIA 法と LC-MS/MS 法の臍帯血血清テストステロン値の乖離に影響を与える因子に関する検討

田邊 聡美、長野 伸彦、寺田 啓輝、峯 佑介、青木 政子、鈴木 潤一、森岡 一朗

日本大学小児科

★ O2-11-3 東京都における LC-MS/MS 法を用いた副腎過形成症スクリーニング二次検査法の再採血判定基準の検証

渡辺 和宏¹、橋本 敦子¹、石毛 信之¹、高澤 啓²、田島 敏広³、長谷川 奉延⁴、

鹿島田 健一²

¹ 公益財団法人東京都予防医学協会、² 東京医科歯科大学発生発達病態学、

³ 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科、⁴ 慶應義塾大学医学部小児科学教室

O2-11-4 早産児の臍帯血 Insulin-like growth factor 1 値と暦年齢 2 歳時の低身長症との関連についての検討

長野 伸彦、青木 政子、佐藤 優希、呉 英俊、今泉 隆行、青木 亮二、土方 みどり、

不破 一将、岡橋 彩、森岡 一朗

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

O2-11-5 NICU に入院歴のある乳児における内分泌かく乱物質である BADGE とその誘導体の血清中濃度の検討

桑村 真美^{1,2}、辻 真弓²、田中 健太郎¹、小野田 淳人³、瀧 健太郎⁴、齋藤 玲子¹、

深野 玲司¹

¹ 産業医科大学 小児科学講座、² 産業医科大学 衛生学講座、

³ 山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部 薬学科 衛生化学研究室、

⁴ 名古屋大学大学院 医学系研究科 附属医学教育研究支援センター 分析機器部門

O2-11-6 マウスのプロラクチン分泌主体は出産直前に胎盤から下垂体に変化する

西連寺 拓¹、増田 真之佑^{1,2}、樋口 裕也³、藤原 悠基¹、荒木 拓也³、大津 義晃⁴、

下川 哲昭^{1,5}、鯉淵 典之¹

¹ 群馬大学大学院医学系研究科 応用生理学分野、

² 群馬大学 生体調節研究所 代謝エピジェネティクス分野、

³ 群馬大学大学院医学系研究科 臨床薬理学分野、⁴ 群馬大学大学院医学系研究科 小児科学分野、

⁵ 高崎健康福祉大学 健康栄養学科

10月11日(金) 14:20～15:20 第3会場(3F G303)

座長 川井 正信(大阪母子医療センター研究所 分子遺伝・内分泌代謝研究部門)
井垣 純子(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)

★ O2-12-1 中枢性思春期早発症 90 症例に対する新規原因遺伝子 MECP2 を含む遺伝学的原因頻度および臨床像の包括的解析

成澤 宏宗^{1,2}、小川 朋恵¹、浦川 立貴¹、長崎 啓祐³、矢ヶ崎 英晃²、内木 康博⁴、
佐野 伸一郎⁵、齋藤 朋洋⁶、曾根田 瞬⁷、寺下 新太郎⁸、金城 さおり⁹、儘田 光和¹⁰、
伊達木 澄人¹¹、鳴海 覚志¹、堀川 玲子⁴、緒方 勤¹²、深見 真紀¹、鏡 雅代¹

¹ 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、² 山梨大学小児科、
³ 新潟大学医歯学総合病院小児科、⁴ 国立成育医療研究センター内分泌代謝科、
⁵ 静岡県立こども病院糖尿病・代謝内科、⁶ 山梨県立中央病院小児科、⁷ たなか成長クリニック、
⁸ 富山大学医学部小児科、⁹ 沖縄県立中部病院小児科、
¹⁰ 日本赤十字社和歌山医療センター小児科、¹¹ 長崎大学大学院医学薬学総合研究科小児科学、
¹² 浜松医療センター小児科

O2-12-2 CHD8 遺伝子のハプロ不全を有する自閉症患者では中枢性思春期早発症の合併に注意する

花川 純子¹、上原 健史¹、籾生 なおみ¹、深江 俊愛¹、滝崎 奈穂¹、井澤 雅子¹、
黒田 友紀子²、室谷 浩二¹

¹ 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、² 神奈川県立こども医療センター遺伝科

O2-12-3 カウフマン療法とゴナドトロピン療法の併用療法 (K-G 療法) で挙児を得た先天性下垂体前葉欠損症の女性例

岡本 新悟¹、佐藤 新紀子¹、佐藤 勝紀¹、岡本 和美¹、前原 佳代子²、今中 聖悟³、
小林 浩³

¹ 岡本内科こどもクリニック、² 畿央大学健康栄養学科、³ ミズクリニックメイワン

O2-12-4 嗅覚正常低ゴナドトロピン性性腺機能低下症の孤発例に同定された KISS1R 遺伝子複合ヘテロ接合型バリエント

佐藤 直子^{1,2,3}、小笠原 敦子⁴、曾根田 瞬³、岸 健太郎³、野田 雅裕³、門脇 弘子⁵、
田中 敏章³

¹ 東京大学医学部附属病院 小児科、² なみファミリークリニック、³ たなか成長クリニック、
⁴ 茨城県立こども病院 小児科、⁵ 国際医療福祉大学 小児科

O2-12-5 FGFR1 エキソン内の Alu 配列挿入による Kallmann 症候群を呈した一例

澤野 堅太郎¹、長崎 啓祐¹、黒木 陽子²、深見 真紀³

¹ 新潟大学医歯学総合病院、² 国立成育医療研究センター研究所 ゲノム医療研究部、
³ 国立成育医療研究センター研究所 分子内分泌研究部

O2-12-6 動原体周囲染色体逆位を持ち典型的な Kallmann 症候群の臨床症状を呈した一例

荒巻 道彦¹、松原 圭子^{1,2}、深見 真紀^{1,2}、濱島 崇³

¹ 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、
² 国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室、
³ あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科

一般口演 13 甲状腺

10月12日(土) 8:20~9:20 第1会場 (1F G2)

座長 南谷 幹史 (帝京大学ちば総合医療センター小児科)

阿部 清美 (東京都済生会中央病院小児科)

★ O3-13-1 15q26.1 領域関連家族性先天性甲状腺機能低下症の表現型スペクトラムには、新生児一過性高TSH血症を包含する

島 彦仁¹、中川 智博¹、石井 加奈子^{1,2}、藤原 幾磨^{1,3}、菊池 敦生¹、菅野 潤子¹

¹ 東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野、

² 福岡市立こども病院内分泌代謝科、³ 仙台市立病院小児科

O3-13-2 新生児マススクリーニングにおける 2000g 未満出生例の再検時 TSH 上昇の頻度：多胎児と単胎児の比較検討

和田 珠希¹、畑 彩葉¹、前山 隆智¹、田中 康太²、森崎 美佐紀²、藤田 宏²、位田 忍³、
恵谷 ゆり¹、川井 正信^{1,4}

¹ 大阪母子医療センター消化器・内分泌科、² 大阪母子医療センター臨床検査部門、

³ 大阪母子医療センター臨床検査科、⁴ 大阪母子医療センター研究所分子遺伝病研究部門

O3-13-3 Slc26a7 ノックアウトマウスの表現型と高ヨウ素食に対する反応性

大矢知 真希¹、山口 直哉¹、吉田 あや^{1,2}、鈴木 敦詞^{1,3}、青山 幸平¹、齋藤 伸治¹

¹ 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、² 一宮市立市民病院 小児科、

³ 岐阜県立多治見病院 小児科

O3-13-4 TSHR 細胞外ドメインのバリエーションによる非自己免疫性甲状腺機能亢進症の一家系

志村 和浩、市橋 洋輔、阿部 清美、鳴海 覚志、石井 智弘、長谷川 奉延

慶應義塾大学医学部小児科学教室

O3-13-5 一過性の意識障害で発症したもやもや病合併バセドウ病の女児例

長崎 啓祐、中村 千鶴子、竹内 浩一

長野県立こども病院内分泌代謝科

O3-13-6 FT4/TSH 比は 20 歳未満の Basedow 病と無痛性甲状腺炎の鑑別に有用である

鈴木 貴大¹、天野 直子¹、長谷川 行洋^{1,2}

¹ 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、² 東京都立多摩北部医療センター小児科

一般口演 14 副腎

10月12日(土) 8:20~9:20 第2会場 (3F G301 + 302)

座長 濱島 崇 (あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科)

天野 直子 (日本小児内分泌学会倫理委員会 / 都立小児総合医療センター内分泌・代謝科)

★ O3-14-1 Androstenedione/Cortisol 比による 21OHD と PORD の鑑別

中谷 久恵¹、齋藤 洋子¹、山野 春樹¹、Analia Yogi¹、桐野 玄¹、安達 恵利子¹、

高澤 啓¹、渡辺 和宏²、石毛 信之²、長谷川 奉延³、田島 敏広⁴、鹿島田 健一¹

¹ 東京医科歯科大学発生発達病態学、

² 公益財団法人東京都予防医学協会小児スクリーニング科、

³ 慶應義塾大学医学部小児科学教室、⁴ 自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児科

O3-14-2 17βヒドロキシステロイド脱水素酵素欠損症の生化学的診断基準 A-diol/DHEA 比の有用性について：兄弟例の検討

本田 美紗¹、佐藤 武志²、中野 さつき³、藤澤 泰子⁴、鳴海 覚志²、石井 智弘²、

長谷川 奉延²

¹ 東京歯科大学市川総合病院小児科、² 慶應義塾大学医学部小児科、³ さいたま市立病院、

⁴ 浜松医科大学小児科

03-14-3 先天性副腎低形成と原発性卵巣機能不全を有する SF-1 異常症の女児例

木島 俊英¹、佐藤 武志¹、中野 さつき^{1,2}、志村 和浩¹、市橋 洋輔¹、土田 琢³、
中村 千鶴子^{3,4}、鳴海 覚志¹、石井 智弘¹、長谷川 奉延¹
¹慶應義塾大学病院、²さいたま市立病院、³信州大学医学部小児医学教室、
⁴長野県立こども病院内分泌代謝科

03-14-4 1 番染色体父性片親性アイソダイソミーに伴う 3 β水酸化ステロイド脱水素酵素欠損症の 1 男児例

鈴木 大¹、菅野 潤子¹、中川 智博¹、島 彦仁¹、梅木 郁美^{1,2}、上村 美季^{1,3}、
本間 桂子⁴、深見 真紀⁵、長谷川 奉延⁶
¹東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野、²岩手県立中央病院小児科、
³仙台医療センター小児科、⁴慶應義塾大学病院臨床検査科、
⁵国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、⁶慶應義塾大学医学部小児科学教室

03-14-5 テストステロン値に一致しない tanner stage を呈した PPNAD 疑いの 1 症例

谷本 英里¹、石丸 雅矩¹、中村 千鶴子¹、福井 貞弘¹、宇治田 風紗¹、宮城 元¹、
五十嵐 瑞穂¹、鹿島 健幹¹、土井 響¹、米田 光宏²、松原 圭子³、島 彦仁⁴、
菅野 潤子⁴、吉井 啓介¹、内木 康博¹、堀川 玲子¹
¹国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、²国立成育医療研究センター小児外科、
³国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室、⁴東北大学医学部小児科

03-14-6 性分化疾患における成人期の性別変更をめぐる課題 - 社会的女性として生きてきた先天性副腎過形成女性例より -

細川 悠紀、山形 雄伸、服部 真也、吉崎 加奈子、川北 理恵、脇 研自
倉敷中央病院小児科

一般口演 15 骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患 2

10月12日(土) 8:20～9:20 第3会場 (3F G303)

座長 蜂屋 瑠見 (東京歯科大学市川総合病院小児科)
窪田 拓生 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

★ 03-15-1 前思春期～成人期 Turner 症候群の Trabecular Bone Score と女性ホルモン補充療法に関する後方視的検討

宗永 健志^{1,2}、池側 研人¹、天野 直子^{1,2}、長谷川 行洋¹
¹東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、²慶應義塾大学医学部小児科学教室

03-15-2 小児骨形成不全症患者におけるビスホスホネート治療と Trabecular bone score の関係

二川 奈都子¹、長谷川 高誠¹、吾郷 祐子¹、田中 弘之²、塚原 宏一¹
¹岡山大学病院小児科、²岡山済生会総合病院小児科

03-15-3 プロスマブ投与を含む多くの治療介入を行った McCune-Albright 症候群

西藤 知城¹、柏坂 舞¹、池谷 紀衣子¹、松本 真明¹、洪本 加奈²、森貞 直哉²、
石井 智弘³、長谷川 奉延³、大藪 恵一⁴、尾崎 佳代¹
¹兵庫県立こども病院代謝内分泌科、²兵庫県立こども病院臨床遺伝科、
³慶應義塾大学医学部小児科、⁴医誠会国際総合病院小児科

03-15-4 プロスマブの治療効果判定に対する骨シンチグラフィの有用性

瑞慶覧 宏彰¹、天野 直子¹、池側 研人¹、尾崎 佳代²、柏木 博子³、濱島 崇⁴、
長谷川 行洋^{1,5}
¹東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、²兵庫県立こども病院代謝内分泌科、
³独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院小児科、
⁴あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科、⁵多摩北部医療センター小児科

03-15-5 同じ遺伝子型 (c.1559delT ホモ接合) で重症度に差異を認めた低フォスファターゼ症の2例

井澤 雅子¹、上原 健史¹、平野 泰大^{1,2}、旗生 なおみ¹、花川 純子¹、菅野 潤子³、
藤原 幾磨³、室谷 浩二¹
¹神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、²平塚市民病院小児科、³東北大学病院小児科

03-15-6 ALPL 遺伝子に c.550C > T ヘテロバリエーションを有する低ホスファターゼ症症例と保因者の検討

中山 尋文^{1,2}、植田 郁実¹、石見 壮史¹、山田 知絵子¹、中野 由佳子¹、山本 賢一^{1,3}、
藤原 誠¹、大幡 泰久¹、門田 珠実⁴、大川 玲奈⁴、北岡 太一⁵、大藪 恵一⁶、
秋山 倫之⁷、北畠 康司¹、窪田 拓生¹

¹大阪大学大学院医学系研究科 小児科学、²大阪大学大学院 歯学研究科 顎顔面口腔外科学、
³大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 生命育成看護科学講座、
⁴大阪大学大学院 歯学研究科 小児歯科学、⁵医誠会国際総合病院 小児科、
⁶医誠会国際病院 難病医療推進センター、
⁷岡山大学学術研究院医歯薬学域 小児医科学分野発達神経病態学領域

一般口演 16 糖代謝・糖尿病・低血糖 3

10月12日(土) 9:30～10:30 第1会場 (1F G2)

座長 濱田 淳平 (愛媛大学大学院医学系研究科小児科学)

望月 美恵 (国立病院機構甲府病院小児科)

★ 03-16-1 1型糖尿病における Advanced Hybrid Closed-Loop システム搭載インスリンポンプ (ミニメド™780G) の有効性

宇治田 風紗¹、山田 未歩子²、谷本 英里¹、福井 貞弘¹、宮城 元¹、桑原 美奈子²、
植田 三紀子²、吉井 啓介¹、内木 康博¹、堀川 玲子¹

¹国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、²国立成育医療研究センター看護部

03-16-2 月経周期による顕著な血糖変動が Hybrid Closed Loop の導入により劇的に改善した 1型糖尿病女子の 1例

國米 崇秀^{1,2}、鈴木 滋²、梶野 浩樹¹

¹網走厚生病院小児科、²旭川医科大学小児科

03-16-3 Hagukumi group study における Minimed 780G の小児患者への使用経験

須永 紋奈¹、川村 智行²、西川 直子¹、柚山 賀彦¹、大梅 成崇¹、東出 崇³、
広瀬 正和⁴、橋本 友美³、堀田 優子⁵、青野 繁雄⁶

¹大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学、²あべのメディカルクリニック、

³はぐはぐキッズクリニック、⁴D Medical Clinic Osaka、⁵PL 病院 小児科、

⁶寺田町こども診療所

03-16-4 小児期発症 1型糖尿病患者における小児慢性特定疾病の医療費助成終了後の医療の現状

菊池 透^{1,2}、田久保 憲行^{1,3}、日本小児内分泌学会 糖代謝委員会¹

¹日本小児内分泌学会糖代謝委員会、²埼玉医科大学小児科、³順天堂大学医学部小児科学講座

03-16-5 MODY5 による肝機能異常を合併した女兒の 1例

北尾 牧子、沼沢 慶太、志賀 健太郎

横浜市立大学附属市民総合医療センター

03-16-6 当院で診断された小児 1型糖尿病 148 症例の年齢別の C ペプチドの推移

沼沢 慶太、北尾 牧子、志賀 健太郎

横浜市立大学附属市民総合医療センター

一般口演 17 性腺・性分化疾患・思春期 2

10月12日(土) 9:30～10:30 第3会場 (3F G303)

座長 向井 徳男 (旭川赤十字病院小児科)

尾崎 佳代 (兵庫県立こども病院 代謝内分泌代謝科)

03-17-1 45, X/46, XY モザイク 21 例の臨床像の検討

水谷 陽貴、福田 太郎、福嶋 真依、石川 琢也、加藤 俊輔、濱島 崇

あいち小児保健医療総合センター内分泌代謝科

- 03-17-2 中枢性性腺機能低下症の網羅的遺伝子解析から CHARGE 症候群が明らかとなった、モザイク型 Turner 症候群の 1 例**
橋本 悟¹、瀧浦 俊彦¹、大久保 結子¹、志村 和浩²、本田 美紗²、佐藤 武志²、
鳴海 覚志²、石井 智弘²、長谷川 奉延²、吉野 浩¹、成田 雅美¹
¹杏林大学医学部付属病院小児科、²慶應義塾大学医学部小児科
- 03-17-3 男子思春期の早発症、遅発症の診断基準年齢の提唱
—成長学的手法による思春期開始時年齢を用いて—**
岸 健太郎^{1,2}、曾根田 瞬^{2,3}、野田 雅裕^{2,4}、佐藤 直子^{2,5}、田中 敏章²
¹市川ゆうサポートクリニック、²たなか成長クリニック、³聖マリアンナ医科大学小児科、
⁴公立昭和病院小児科、⁵なみファミリークリニック
- 03-17-4 GH 治療中の GHD 女子の思春期開始時の生物学的、内分泌学的、成長学的評価**
田中 敏章¹、曾根田 瞬^{1,2}、岸 健太郎^{1,3}、佐藤 直子^{1,4}、野田 雅裕^{1,5}
¹たなか成長クリニック、²聖マリアンナ医科大学、³市川りゆうサポートクリニック、
⁴なみファミリークリニック、⁵公立昭和病院小児科
- 03-17-5 電気化学発光免疫測定法によるエストラジオール (E2) 測定のピットフォール: E2 偽高値を呈した早発乳房の一例**
蜂屋 瑠見^{1,2}、古澤 恭平¹、柴田 浩憲²、内田 登²、佐々木 悟郎¹、福島 裕之¹、
石井 智弘²、長谷川 奉延²
¹東京歯科大学市川総合病院小児科、²慶應義塾大学医学部小児科学教室
- 03-17-6 乳房 1・2 期におけるエストラジオールの基準値の検討**
望月 貴博、西垣 五月
希望の森成長発達クリニック

一般口演 18 下垂体・成長 4

10月12日(土) 9:30～10:30 第4会場 (3F G304)

座長 伊達木 澄人 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 小児科学)
長井 静世 (滋賀医科大学小児科学講座)

- 03-18-1 Fao 細胞においてアミノ酸欠乏に応答して産生される FGF21 が GH 抵抗性誘導に果たす役割の解析**
齋藤 真希^{1,2}、西 宏起²、宮田 市郎¹、伯野 史彦²、高橋 伸一郎²
¹東京慈恵会医科大学小児科学講座、²東京大学大学院農学生命科学研究科応用動物科学専攻
- ★ **03-18-2 Pathogenic sequence variant and microdeletion affecting *HMG2A* in Silver-Russell syndrome: case reports and thorough review**
矢本 香織^{1,2}、才津 浩智¹、大久保 由美子³、鏡 雅代⁴、緒方 勤^{1,2,5}
¹浜松医科大学医化学講座、²浜松医科大学小児科、³静岡済生会総合病院小児科、
⁴国立成育医療研究センター分子内分泌研究部、⁵浜松医療センター小児科
- 03-18-3 小児中枢性尿崩症ではデスマプレシン口腔内崩壊錠内服後 30 分で尿量が減少する**
小川 哲史、森口 駿、向山 祐理、滝沢 文彦、小川 敦、伊藤 純子、磯島 豪
虎の門病院小児科
- 03-18-4 AIP 遺伝子変異による GH・PRL 産生下垂体神経内分泌腫瘍の男児例**
佐野 伸一郎^{1,3}、村井 雄紀¹、永井 靖識²、石崎 竜司²、増永 陽平³、藤澤 泰子³、
緒方 勤^{3,4}
¹静岡県立こども病院 糖尿病・代謝内科、²静岡県立こども病院 脳神経外科、
³浜松医科大学 小児科、⁴浜松医療センター 小児科
- 03-18-5 X 連鎖潜性遺伝性疾患 Borjeson-Forssman-Lehmann Syndrome の女児例**
長井 静世^{1,3}、岩永 甲午郎²、矢野 直子²、吉田 健司²、塚村 篤史¹、筒井 英美¹、
丹羽 房子³、丸尾 良浩¹
¹滋賀医科大学 小児科学講座、²京都大学大学院医学研究科 発達小児科学、
³三菱京都病院 小児科

O3-18-6 LHX4 遺伝子に新規バリエーションを認めた先天性複合型下垂体機能低下症

小泉 美紀子^{1,2}、恵谷 ゆり¹、岡本 伸彦³、位田 忍⁴、川井 正信^{1,5}

¹大阪母子医療センター 消化器内分泌科、²淀川キリスト教病院 小児科、

³大阪母子医療センター 遺伝診療科、⁴大阪母子医療センター 臨床検査科、

⁵大阪母子医療センター研究所 分子遺伝・内分泌代謝研究部門

ポスター発表 1 下垂体・成長 1

10月10日(木) 18:05～19:05 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 深見 真紀 (国立成育医療研究センター研究所 分子内分泌研究部)

森 潤 (大阪市立総合医療センター 小児代謝内分泌・腎臓内科)

P1-1-1 当院で経験した SHOX 異常症の臨床的特徴のまとめ

武内 香菜子¹、熊田 寛子¹、内海 孝法¹、坂田 園子¹、香川 礼子¹、藤本 正伸²、
吉井 啓介³、内木 康博³、堀川 玲子³、岡田 賢¹

¹広島大学病院、²鳥取大学病院、³国立成育医療研究センター内分泌代謝科

P1-1-2 マイクロアレイ染色体検査で診断した、下流エンハンサー領域欠失による SHOX 異常症

武者 育麻^{1,2}、田中 萌子^{1,2}、沼倉 周彦^{1,2}、味原 さや香^{1,2}、川名 宏¹、大竹 明^{1,2}、
菊池 透¹

¹埼玉医科大学病院小児科、²埼玉医科大学病院ゲノム医療科

P1-1-3 PROGRES ; 日常診療下における GH 治療患者の多国籍・非介入・前向きコホート研究 (Update)

○ Carol Huang¹, Mitchell E. Geffner², Aristides Maniatis³, Lourdes Ibañez⁴, Daria La Torre⁵,
Feyza Darendeliler⁶, Mehul Dattani⁷, Mohamad Maghnie^{8,9}, Moshe Phillip¹⁰, 堀川玲子¹¹,
Roy Gomez¹², Shilpa Viswanathan¹³, Martin Carlsson¹³, Michael P. Wajnrajch^{13,14}

¹Alberta Children's Hospital, Calgary, Alberta, Canada, ²The Saban Research Institute, Children's Hospital Los Angeles, Keck School of Medicine of the University of Southern California, Los Angeles, CA, USA, ³Rocky Mountain Pediatric Endocrinology, Centennial, CO, USA, ⁴Endocrinology, Institut de Recerca Sant Joan de Déu, University of Barcelona, Barcelona, Spain, ⁵Pfizer, Rome, Italy, ⁶Istanbul Faculty of Medicine, Pediatric Endocrinology Unit, İstanbul, Turkey, ⁷UCL Great Ormond Street Institute of Child Health, London, UK, ⁸Clinica Pediatrica, IRCCS Istituto Giannina Gaslini, Genoa, Italy, ⁹DINO GMI, University of Genoa, Genoa, Italy, ¹⁰Schneider Children's Medical Center of Israel, Petah Tikva, and Sackler Faculty of Medicine, Tel-Aviv University, Tel-Aviv, Israel, ¹¹国立成育医療研究センター, ¹²Pfizer Pte Ltd, Singapore, ¹³Pfizer Inc, New York, NY, USA, ¹⁴New York University, Grossman School of Medicine, New York, NY, USA

P1-1-4 異なる遺伝要因が同定された SGA 性低身長症の 3 例

松田 純子^{1,2}、赤池 洋人¹、升野 光雄³、徳富 智明¹、黒澤 健司⁴、鏡 雅代⁵

¹川崎医科大学小児科、²川崎医科大学病態代謝学、³川崎医療福祉大学医療福祉学部、

⁴神奈川県立こども医療センター臨床研究所、

⁵国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部

P1-1-5 当センターにおける超低出生体重児の発達の検討

前山 隆智¹、山川 咲子⁴、畑 彩葉¹、和田 珠希¹、木本 裕香³、吉田 美寿々³、
平野 慎也³、恵谷 ゆり¹、和田 和子³、川井 正信^{1,2}

¹大阪母子医療センター消化器・内分泌科、

²大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門、

³大阪母子医療センター新生児科、⁴大阪母子医療センターリハ・育療支援部門

P1-1-6 患者および保護者によるソマブシタンとソムアロゴンの注射デバイスの嗜好性と操作性の検討

中村 明枝¹、Akhtar Shahid²、Berg Birgitte²、Gonczi Maya³、Kelepouris Nicky⁴、

Neergaard Jesper²、Svarke Claus²、Borch Gitte²、Rasmussen Niklas²

¹国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、²Novo Nordisk A/S, Søborg Denmark、

³Novo Nordisk Collective, Tempe, AZ, USA、⁴Novo Nordisk Inc, Plainsboro, NJ, USA

P1-1-7 成長ホルモンデバイスの Second Patient Choice からわかったこと
 大津 義晃¹、山口 将邦¹、須田 峻平^{1,2}、島田 正晴¹、和田 綾¹、大澤 好充¹、
 滝沢 琢己¹
¹群馬大学医学部附属病院小児科、²伊勢崎市民病院小児科

P1-1-8 製剤の違いによる成長ホルモン補充療法の実態調査（質問紙による検討）
 深谷 亜矢¹、菊池 豊²、齋藤 真理²、飯村 加奈美¹、石田 優子¹、増渕 加奈子¹、
 鈴木 真弓¹
¹芳賀赤十字病院看護部、²芳賀赤十字病院小児科

ポスター発表2 下垂体・成長2

10月10日（木） 18:05～19:05 ポスター会場（1F G3 + G4）

座長 有安 大典（川崎市立川崎病院小児科）
 岡島 道子（金沢大学附属病院小児科）

P1-2-1 成長障害を契機に診断に至ったヒアルロニダーゼ2欠損症の1例
 折本 竜太¹、安達 恵利子²、桐野 玄²、我有 茉希³、鹿島田 健一²、高澤 啓²
¹東京医科歯科大学病院小児科、
²東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学分野、
³東京医科歯科大学遺伝子診療科

P1-2-2 成長ホルモン分泌不全性低身長症患者における成長ホルモン補充療法の継続率と臨床的特徴
 伊達木 澄人¹、佐藤 幸仁²、森 潤³
¹長崎大学大学院 医学薬学総合研究科 小児科学、²ノボ ノルディスク ファーマ株式会社、
³大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科

P1-2-3 成長ホルモン分泌不全性低身長（GHD）を併発した Gitelman 症候群（GS）の成長経過
 滝島 茂^{1,2}、山野 春樹^{1,2}、佐藤 薫¹、松田 希¹、森 崇寧³、蘇原 映誠³、内田 信一³、
 高澤 啓²、鹿島田 健一²、長谷川 毅¹
¹草加市立病院診療部小児科、
²東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科発生発達病態学（小児科）、
³東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科腎臓内科学

P1-2-4 FGFR1 新規ミスセンスバリエーションを有し、全前脳胞症と Kallmann 症候群を併せ持つ 1 例
 内田 登^{1,2,3}、水野 裕介^{1,2}、高橋 努¹、柴田 浩憲^{2,4}、鳴海 覚志²、石井 智弘²、
 長谷川 奉延²
¹済生会宇都宮病院小児科、²慶應義塾大学医学部小児科学教室、³済生会中央病院小児科、
⁴川崎市立川崎病院小児科

P1-2-5 プラダーウィリー症候群との鑑別を要した Burnside -Butler 症候群の一例
 内田 直幸、宇都宮 朱里、小野 泰輔、富岡 啓太、小野 浩明、荒新 修
 広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科

P1-2-6 成長曲線・肥満度判定曲線健診におけるカテゴリー 7 の特徴
 地行 健二¹、中矢 隆大²、濱田 淳平³、竹本 幸司²
¹四国中央病院小児科、²愛媛県立新居浜病院小児科、³愛媛大学医学部附属病院小児科

P1-2-7 著明な高身長を呈した Sotos 症候群 3 例の症例報告ならびに文献レビュー
 増永 陽平^{1,2}、小野 裕之³、藤澤 泰子¹、谷口 清州⁴、才津 浩智⁵、緒方 勤^{1,5,6}
¹浜松医科大学小児科、²浜松医科大学地域医療支援学講座、³JA 静岡厚生連遠州病院小児科、
⁴国立病院機構三重病院小児科、⁵浜松医科大学医化学講座、⁶浜松医療センター小児科

P1-2-8 幼児期に成長が catch-up する低身長小児の臨床的特徴
 畑川 奈都樹^{1,2}、高尾 洋輝²、河村 吉紀^{1,2}、鈴木 大次郎^{1,2}、赤松 真実^{1,2}、板野 雅史^{1,2}、
 水野 晴夫²
¹藤田医科大学岡崎医療センター、²藤田医科大学医学部小児科学

ポスター発表 3 性腺・性分化疾患・思春期 1

10月10日(木) 18:05～19:05 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 溝田 美智代 (今村総合病院小児科)

堀 尚明 (太田記念病院小児科)

P1-3-1 中枢性思春期早発症女児に対する GnRH アナログ治療中の血中エストラジオール値

西垣 五月、望月 貴博

希望の森成長発達クリニック

P1-3-2 中枢性思春期早発症を生じた Prader-Willi syndrome の 2 例

大山 伊吹¹、佐野 伸一郎²、藤澤 泰子¹、緒方 勤^{1,3}

¹ 浜松医科大学小児科学講座、² 静岡県立こども病院糖尿病・代謝内科、

³ 浜松医療センター小児科

P1-3-3 視床下部過誤腫による思春期早発症の女児

白川 詩織^{1,2}、家村 綾正^{3,4}、高澤 啓⁴、鹿島田 健一⁴、小野 真^{1,3}

¹ 東京ベイ・浦安市川医療センター、² 土浦協同病院小児科、³ 千葉市立海浜病院小児科、

⁴ 東京医科歯科大学病院小児科

P1-3-4 GnRH 依存性思春期早発症のフォロー中にアンドロゲン産生副腎腺腫と診断された女児例

津浦 海里^{1,2}、水谷 祐喜子¹、石田 優香¹、橋本 伸弘¹、進藤 淳也³、村井 雄紀⁴、

佐野 伸一郎⁴、西田 光宏¹、上牧 務¹、鳴海 覚志⁵、石井 智弘⁵、長谷川 奉延⁵

¹ 静岡市立清水病院小児科、² 済生会宇都宮病院小児科、³ 足利赤十字病院小児科、

⁴ 静岡県立こども病院糖尿病・代謝内科、⁵ 慶應義塾大学医学部小児科学教室

P1-3-5 幼児早期に特異性中枢性思春期早発症を発症した女児 2 例

多村 公晃¹、齋藤 真希¹、橋本 大²、松岡 諒²、高島 典子²、宮田 市郎¹

¹ 東京慈恵会医科大学小児科学講座、² 東京慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科

P1-3-6 Tay-Sachs 病に合併した中枢性思春期早発症の 5 歳男児例

中村 千鶴子、長崎 啓祐、竹内 浩一

長野県立こども病院

P1-3-7 思春期早発症・肥満を主訴に受診し、OHVIRA 症候群の診断に至った女児例

瀧澤 千絵子¹、松田 希¹、家村 綾正²、佐藤 薫¹、滝島 茂¹、高澤 啓²、鹿島田 健一²、

長谷川 毅¹

¹ 草加市立病院小児科、

² 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 発生発達病態学分野 (小児科)

P1-3-8 福岡市における思春期早発症患者数の経年変化 2015-2022

牧村 美佳^{1,2}、八ッ賀 秀一³、虫本 雄一⁴、江島 伸興^{3,5}、古園 美和²、古賀 信彦³、

安部 希⁴、トカン ヴラッド⁴、石井 加奈子^{2,4}、都 研一²

¹ 国立病院機構小倉医療センター小児科、² 福岡市立こども病院内分泌・代謝科、

³ 福岡大学病院小児科、⁴ 九州大学病院小児科、⁵ 久留米大学病院小児科

ポスター発表 4 糖代謝・糖尿病・低血糖 1

10月10日(木) 18:05～19:05 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 阿部 裕樹 (新潟市民病院小児科)

高谷 具純 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

P1-4-1 6 歳時に初めて低血糖発作を来した高インスリン性低血糖症の一例

菱村 希¹、金子 直哉¹、遠藤 愛¹、渡邊 さやか²、松岡 恵²、青柳 勇人²、中村 明枝³、

森川 俊太郎²

¹ 北海道大学大学院医学研究院小児科学教室、² 帯広協会病院小児科、

³ 国立成育医療研究センター研究所 分子内分泌研究部

- P1-4-2 重度の新生児低血糖で発症した新規 HNF4A バリエントによる高インスリン血性低血糖の 1 例**
中村 幸恵、鈴木 由芽、神田 藍、矢田 ゆかり、河野 由美、田島 敏広
自治医科大学小児科
- P1-4-3 てんかんの診断より 4 年経過し確定診断に至ったインスリノーマの一例**
金子 直哉¹、遠藤 愛¹、菱村 希¹、河原 仁守²、柿坂 達彦²、本多 昌平²、
森川 俊太郎¹
¹北海道大学大学院医学研究院小児科学教室、
²北海道大学大学院医学研究院消化器外科学教室 I
- P1-4-4 後期ダンピング症候群に対し持続血糖モニタリングでの管理が有効であった 1 歳女児例**
壺井 史奈¹、古森 遼太¹、石川 暢恒¹、神野 和彦¹、郷田 聡²、大田 敏之²、平原 慧³、
亀井 尚美³、大津 一弘³
¹県立広島病院 小児科、²県立広島病院 小児腎臓科、³県立広島病院 小児外科
- P1-4-5 新型コロナウイルス感染症パンデミックが山梨県小児 1 型糖尿病へ与えた影響**
齋藤 朋洋¹、望月 美恵²、成澤 宏宗²、渡邊 大輔²、牧野 耕一²、矢ヶ崎 英晃²、
佐藤 和正²、佐野 友昭²、太田 正法²、小林 浩司²
¹山梨県立中央病院小児科、²山梨大学医学部小児科
- P1-4-6 特別支援学校で Advanced Hybrid Closed Loop 導入後に TIR が改善した 1 型糖尿病の 21 トリソミー男児例**
永田 知裕^{1,2}、長谷川 行洋^{1,2}、天野 直子¹
¹東京都立小児総合医療センター、²東京都立多摩北部医療センター
- P1-4-7 hybrid closed loop 療法を導入した HNF1A-MODY**
大山 和紗¹、末岡 秀文^{1,4}、石井 玲¹、岩佐 真実²、中村 慧³、木原 美奈子⁴、
鈴木 滋⁵、津川 毅¹
¹札幌医科大学附属病院小児科、²浦河赤十字病院小児科、³岩見沢市立総合病院小児科、
⁴苫小牧市立病院小児科、⁵旭川医科大学附属病院小児科
- P1-4-8 小児糖尿病サマーキャンプにおけるミニメド™770G Hybrid closed loop システムの安全性**
中谷 恵理^{1,2,3}、山形 雄伸^{1,2}、服部 真也^{1,2}、吉崎 加奈子¹、川北 理恵^{1,2}、細川 悠紀^{1,2}、
脇 研自¹
¹倉敷中央病院小児科、²岡山小児糖尿病協会（岡山つぼみの会）、
³近江八幡市立総合医療センター小児科

ポスター発表 5 糖代謝・糖尿病・低血糖 2

10月10日(木) 18:05～19:05 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 神野 和彦 (県立広島病院小児科)
矢ヶ崎 英晃 (山梨大学医学部小児科)

P1-5-1 学校検尿を契機に発見された耐糖能異常の特徴と転機について

志賀 健太郎、北尾 牧子、沼沢 慶太
横浜市立大学附属市民総合医療センター

P1-5-2 長期間インスリン非依存状態の膵島関連自己抗体陽性糖尿病の臨床的特徴に関する検討

浦上 達彦、寺田 啓輝、田邊 聡美、峯 佑介、桑原 怜未、青木 政子、鈴木 潤一、
森岡 一朗
日本大学医学部小児科学系小児科学分野

- P1-5-3 小児 1 型糖尿病の患児自身が療養行動を習得する時期について
—多施設研究アンケート結果から—**
根本 千裕^{1,2}、松井 克之^{1,2,3}、田川 晃司^{2,3}、長井 静世^{2,3}、松田 史佳^{2,4}、大杉 康司^{2,5}、
大津 成之^{2,6}、菊池 透^{2,7}
¹滋賀県立小児保健医療センター内分泌代謝糖尿病科、²小児インスリン治療研究会、
³滋賀医科大学小児科学講座、⁴大分大学医学部小児科学講座、⁵小田原市立病院小児科、
⁶中野島糖尿病クリニック、⁷埼玉医科大学小児科
- P1-5-4 血清浸透圧を意識し治療を行なった血糖値 1600mg/dL、補正 Na177mEq/L の糖尿病性
ケトアシドーシスの一例**
柴 康弘、數川 逸郎、木原 牧子、鮎田 香子、山本 紘子、阿部 茉衣子、皆川 真規
千葉県こども病院
- P1-5-5 急性呼吸窮迫症候群の合併が疑われた糖尿病ケトアシドーシスの幼児例**
井上 巳香、中農 万里、小幡 美智
国立病院機構金沢医療センター
- P1-5-6 ケトアシドーシスで発症し寛解が得られた Ketosis prone to type 2 diabetes と考えら
れる 2 型糖尿病の小児例**
櫻井 達哉¹、山藤 陽子¹、宮本 朋幸¹、土屋 博久²
¹横須賀市立うわまち病院小児科、²横須賀市立市民病院内分泌・糖尿病内科
- P1-5-7 インスリン治療中にリポハイパートロフィーが原因で高血糖が持続した 1 型糖尿病の 16 歳**
大高 智博¹、長沼 純子¹、人見 浩亮¹、小山 さとみ^{1,2}、白石 秀明¹
¹獨協医科大学小児科学、²獨協医科大学 埼玉医療センター
- P1-5-8 非典型的な経過を辿ったステロイド糖尿病の 2 症例**
加藤 俊輔、福田 太郎、福嶋 真依、石川 琢也、水谷 陽貴、濱島 崇
あいち小児保健医療総合センター

ポスター発表 6 肥満・やせ・栄養・脂質代謝

10月10日(木) 18:05～19:05 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 田久保 憲行(順天堂大学医学部小児科学講座)
村下 眞理(医療法人 むらしたこどもクリニック)

- P1-6-1 当院における小児肥満 130 例の介入と効果**
村下 眞理、濱本 道子、大井 ひとみ
医療法人 むらしたこどもクリニック
- P1-6-2 肥満を有する小児における肥満度低下と肝機能障害改善の関連性**
松本 真明、柏坂 舞、西藤 知城、池谷 紀衣子、尾崎 佳代
兵庫県立こども病院 代謝内分泌科
- P1-6-3 肥満小児におけるリンパ球分画の検討**
齋藤 玲子¹、保科 隆之^{1,2}、平川 潤¹、桑村 真美¹、深野 玲司¹
¹産業医科大学医学部小児科、²福岡市立こども病院総合診療科
- P1-6-4 小児期の自閉スペクトラム症における肥満リスクと食嗜好の特徴**
山下 美保¹、松本 尚美²、重安 良恵³、藤井 智香子³、伊与田 邦昭⁴
¹ノートルダム清心女子大学食品栄養学科、
²岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野、
³岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児医科学、⁴福山こども発達支援センター
- P1-6-5 「不健康やせ」のスクリーニング基準の検討 第 3 報
— BMI SDS 基準の 1 縦断的コホートへの適用**
井ノ口 美香子^{1,2}、長島 由佳²、石井 智弘²、長谷川 奉延²
¹慶應義塾大学保健管理センター、²慶應義塾大学医学部小児科
- P1-6-6 小児脳腫瘍患者における初発時のやせについての検討**
岩田 康平、渡部 瑠、山田 勇気、樋口 真司、森 潤
大阪市立総合医療センター小児代謝内分泌・腎臓内科

P1-6-7 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下における女子大学生の健康状態と生活に関する調査三善 陽子^{1,2}、板谷 智香¹¹大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科臨床栄養発育学研究室、²大阪大学大学院医学系研究科小児科学**P1-6-8 出生体重と高校生における体格との関連：福岡県学校心臓検診調査票の解析から**多久 葵¹、山本 幸代^{2,5}、後藤 元秀³、石川 司朗^{4,5}、稲光 毅^{5,6}¹九州労災病院 小児科、²産業医科大学 医学部 医学教育担当教員、³産業医科大学 産業生態科学研究所 職業性中毒学、⁴福岡輝栄会病院 内科、⁵福岡県メディカルセンター学校心臓検診小委員会 / 福岡県メディカルセンター学校心臓検診運営委員会、⁶福岡県医師会

ポスター発表 7 甲状腺 1

10月10日（木） 18:05～19:05 ポスター会場（1F G3 + G4）

座長 伊藤 順庸（金沢医科大学小児科）

数川 逸郎（千葉県こども病院内分泌科）

P1-7-1 小児期発症の重症 / 治療抵抗性バセドウ病における難治性予測因子の検討

—血清 Siglec 1 濃度測定の有用性—

沼田 遥^{1,2}、木村 妙¹、田嶋 朝子¹、高島 典子²、橋本 貢士³、宮田 市郎¹¹東京慈恵会医科大学小児科学講座、²東京慈恵会医科大学葛飾医療センター小児科、³獨協医科大学埼玉医療センター糖尿病内分泌・血液内科**P1-7-2 無熱性けいれんを初発症状とした甲状腺クリーゼの1例**

—臨床経過ならびに血清 Siglec 1 濃度の推移—

橋本 大¹、森多 明日香¹、藤田 由見¹、大川 佑花¹、鈴木 令奈¹、大庭 梓¹、
武政 洋一¹、久保田 淳¹、清原 美佳¹、松岡 諒¹、木下 美沙子¹、斎藤 亮太¹、
堀向 健太¹、高島 典子¹、橋本 貢士²、宮田 市郎³¹東京慈恵会医科大学葛飾医療センター、²獨協医科大学埼玉医療センター糖尿病内分泌・血液内科、³東京慈恵会医科大学小児科学講座**P1-7-3 薬剤治療に難渋し、甲状腺ホルモン高値のまま外科的治療を行った Basedow 病の1例**笹岡 大記¹、永松 扶紗¹、阿南 浩太郎¹、進藤 久和²、山下 弘幸²、中村 公俊¹¹熊本大学病院小児科、²やました甲状腺病院**P1-7-4 抗甲状腺薬で多発関節炎をきたし甲状腺全摘術を余儀なくされた小児バセドウ病女児例**吉松 佳祐¹、勢井 友香²、濱田 淳平²、宇都宮 秀和³、中矢 隆大⁴、地行 健二⁴、
竹本 幸司⁴、加藤 里絵²、江口 真理子²¹愛媛県立中央病院小児科、²愛媛大学医学部小児科、³市立八幡浜総合病院小児科、⁴愛媛県立新居浜病院小児科**P1-7-5 外科治療に至った Basedow 病小児例の臨床経過の比較**高尾 洋輝、須藤 勇汰、近藤 朋実、安田 泰明、熊谷 直憲、中島 葉子、伊藤 哲哉、
吉川 哲史、水野 晴夫

藤田医科大学医学部小児科学

P1-7-6 Basedow 病に対する長期ヨウ化カリウム内服後に無痛性甲状腺炎に転じた Down 症の1例上原 健史、籾生 なおみ、深江 俊愛、滝崎 奈穂、井澤 雅子、花川 純子、室谷 浩二
神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科**P1-7-7 7年ぶりに再発した夜尿を契機に診断された小児 Basedow 病の1男児例**

峯 佑介、寺田 啓輝、田邊 聡美、青木 政子、鈴木 潤一、浦上 達彦、森岡 一朗

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

P1-7-8 四肢の脱力発作を契機に診断に至ったバセドウ病の1例

田川 晃司^{1,2}、小笠原 卓¹、岡野 聡美¹、大島 美保¹、成田 光生¹、岡 敏明¹、
村上 智明¹、金田 真¹

¹札幌徳洲会病院小児科、²滋賀医科大学小児科学講座

ポスター発表 8 甲状腺 2

10月10日(木) 18:05 ~ 19:05 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 丸尾 良浩 (滋賀医科大学小児科)

橋 真紀子 (大阪大学大学院医学系研究科小児科)

P1-8-1 小児専門病院単一施設における新生児甲状腺マスキング精密検査受診者の追跡調査

千葉 悠太、藤林 俊助、梁 偉博、会津 克哉

埼玉県立小児医療センター代謝内分泌科

P1-8-2 うがい薬のヨウ素過剰による甲状腺腫を契機に診断した DUOX2 異常症の一例

大高 新¹、高橋 郁子¹、近野 勇樹²、高橋 勉¹

¹秋田大学大学院医学系研究科小児科学講座、²能代厚生医療センター小児科

P1-8-3 レボチロキシン Na 治療中の先天性甲状腺機能低下症にリオチロニン Na を併用した 2 症例の検討

柿本 令奈、玉田 泉

いまきいれ総合病院

P1-8-4 共に新生児マスキングで発見に至らなかった TSHR 遺伝子異常の姉妹例

鈴木 敦詞¹、大矢知 真希²、吉田 あや^{2,3}、山口 直哉²、青山 幸平²

¹岐阜県立多治見病院小児科、²名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、
³一宮市立市民病院小児科

P1-8-5 大量レボチロキシン負荷試験が有用であった偽性レボチロキシン吸収障害の一例

橋本 有紀子¹、北 誠¹、松倉 崇¹、浅井 康一¹、北村 拓也²、難波 多挙²、田上 哲也²

¹国立病院機構京都医療センター小児科、²国立病院機構京都医療センター内分泌代謝内科

P1-8-6 新規 IGSF1 バリエントによる重症成長ホルモン分泌不全症を呈した甲状腺機能低下症の一例

古園 美和¹、牧村 美佳¹、石井 加奈子¹、柴田 奈央²、長崎 啓祐²、都 研一¹

¹福岡市立こども病院 内分泌・代謝科、²新潟大学医学部小児科学教室

P1-8-7 無機ヨウ素剤投与中のバセドウ病合併母体から出生、甲状腺機能低下症を呈した新生児の1例

真玉 千紘¹、小林 弘典^{1,2}、和田 啓介³、鞆嶋 有紀³、鬼形 和道³、竹谷 健³

¹松江赤十字病院小児科、²島根大学医学部附属病院検査部、³島根大学医学部附属病院小児科

P1-8-8 重度の甲状腺機能低下症のために妊娠継続を断念した1例

八田 容理子^{1,2}、上條 隆司³、高木 潤子²

¹岩山小児科、²愛知医科大学医学部内科学講座内分泌・代謝内科、

³なごやかこども成長クリニック

ポスター発表 9 甲状腺・その他

10月10日(木) 18:05 ~ 19:05 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 沼倉 周彦 (埼玉医科大学ゲノム医療科・小児科)

長谷川 真理 (奈良県立医科大学小児科)

P1-9-1 Van Wyk-Grumbach 症候群を発症した生来健康な9歳女児例

小松 洋介、菊池 信行

横浜労災病院

- P1-9-2 自己抗体陰性の後天性甲状腺機能低下症を合併した、STAT1 GOF による慢性皮膚粘膜カンジダ症の 1 例**
中川 竜一、磯田 健志、高澤 啓、鹿島田 健一
東京医科歯科大学発生発達病態学分野
- P1-9-3 中枢性副腎機能低下症 (CA) を合併した中枢性甲状腺機能低下症 (CH) の 1 例**
吉和 穂乃佳、伊東 英美、長谷川 泰浩、榊原 杏美、山本 威久
箕面市立病院小児科
- P1-9-4 早期のレプチン補充治療を検討している先天性全身性脂肪萎縮症の 2 歳男児**
島本 太郎¹、石井 加奈子^{1,2}、トカン ヴラッド¹、安部 希¹、虫本 雄一¹、大賀 正一¹
¹九州大学病院小児科、²福岡市立こども病院内分泌・代謝科
- P1-9-5 非成長ホルモン分泌不全性低身長児における亜鉛欠乏症の頻度と血清亜鉛濃度と体格指標との関連性の検討**
畑 彩葉¹、前山 隆智¹、和田 珠希¹、位田 忍²、恵谷 ゆり¹、川井 正信^{1,3}
¹大阪母子医療センター消化器・内分泌科、²大阪母子医療センター臨床検査科、
³大阪母子医療センター研究所分子遺伝・内分泌代謝研究部門
- P1-9-6 食物除去による微量元素欠乏から甲状腺機能異常を発症した 2 例**
和田 啓介¹、小林 弘典²、鞆嶋 有紀¹、鬼形 和道¹、小川 桃子¹、岡村 理香子¹、竹谷 健¹
¹島根大学医学部小児科、²島根大学医学部附属病院検査部
- P1-9-7 過剰な食物除去のためヨウ素欠乏による甲状腺機能低下症をきたした一例**
須田 峻平^{1,2}、山口 将邦^{2,3}、小針 靖子¹、大津 義晃³、渡部 登志雄²、高野 洋子¹
¹伊勢崎市民病院小児科、²公立藤岡総合病院小児科、³群馬大学小児科
- P1-9-8 頻回嘔吐を繰り返したカルニチン低値の 4 症例**
川崎 綾子、藤原 進太郎、樋口 洋介、古城 真秀子
岡山医療センター小児科

ポスター発表 10 骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患 1

10月10日(木) 18:05～19:05 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 小林 弘典 (島根大学医学部附属病院検査部)
高谷 里依子 (千葉大学教育学部)

- P1-10-1 宗教上の生活習慣から重度ビタミン D 欠乏症による骨軟化症を呈したイスラム教徒の 14 歳女児**
中川 智博、川嶋 明香、島 彦仁、鈴木 大、菊池 敦生、菅野 潤子
東北大学病院小児科
- P1-10-2 偏食と日光照射不足により顕在化したと考えられるビタミン D 欠乏性低カルシウム血症の 14 歳と 16 歳の男性例**
馬場 義郎^{1,2,4}、長谷川 行洋^{1,3}、鳴海 覚志⁴、石井 智弘⁴、長谷川 奉延⁴
¹東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、²新百合ヶ丘総合病院小児科、
³東京都立多摩北部医療センター小児科、⁴慶應義塾大学小児科
- P1-10-3 Ca 欠乏を伴うビタミン D 欠乏性低 Ca 血症および -4.0 SD の骨密度低値を認めた牛乳アレルギーの 10 歳男児例**
中野 さつき^{1,3}、小松 理瑛子¹、天野 直子^{1,2,3}、濱畑 裕子¹、明石 真幸¹、鳴海 覚志³、石井 智弘³、西村 玄⁴、長谷川 奉延³
¹さいたま市立病院小児科、²東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、
³慶應義塾大学医学部小児科、⁴武蔵野陽和会病院放射線科
- P1-10-4 ビタミン D 欠乏性くる病 11 例における天然型ビタミン D サプリメントによる治療開始後 1 年間の臨床経過**
池谷 紀衣子、柏坂 舞、西藤 知城、松本 真明、尾崎 佳代
兵庫県立こども病院代謝内分泌科

- P1-10-5 カルシウム感受容体遺伝子の新規変異による常染色体顕性低カルシウム血症の一例**
塩田 翔吾、中川 万理恵、山野 詩央、杉浦 愛子、本間 丈博、福井 貞弘、谷本 英里、宇治田 風紗、宮城 元、吉井 啓介、内木 康博、堀川 玲子
国立成育医療研究センター
- P1-10-6 常染色体顕性頭蓋骨幹端異形成症に対するビタミンD長期投与例の長期経過**
本間 丈博^{1,2,3}、内木 康博¹
¹国立成育医療研究センター内分泌・代謝科、²多摩北部医療センター小児科、³多摩北部医療センター内分泌代謝科
- P1-10-7 機能性卵巣嚢胞による性器出血の反復から線維性骨異形成症を早期診断し得た McCune-Albright 症候群の女児例**
森 真以^{1,2}、堀 友博^{1,2}、松本 英樹¹、笹井 英雄^{1,2,3}、小関 道夫¹、川本 典生¹、大西 秀典^{1,2}
¹岐阜大学大学院医学系研究科小児科学、
²岐阜大学医学部附属病院ゲノム疾患・遺伝子診療センター、
³岐阜大学大学院医学系研究科小児希少難病早期診断・予防医学講座
- P1-10-8 慢性粘膜皮膚カンジダ症を認めず、副甲状腺機能低下症で発症した自己免疫性多内分泌腺症候群 1 型の 1 例**
平野 泰大¹、佐々木 悟郎²、志村 和浩³、市橋 洋輔³、本田 美紗³、鳴海 覚志³、石井 智弘³、長谷川 奉延³
¹平塚市民病院小児科、²練馬総合病院小児科、³慶應義塾大学医学部小児科

ポスター発表 11 下垂体・成長 3

10月11日(金) 16:55 ~ 17:55 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 大津 義晃 (群馬大学大学院医学系研究科小児科学)

金城 さおり (沖縄県立中部病院小児科)

- P2-11-1 当院で診療したラトケ嚢胞 4 例とその内分泌学的異常についての検討**
須田 峻平¹、小針 靖子¹、相島 薫²、高野 洋子¹
¹伊勢崎市民病院小児科、²伊勢崎市民病院脳神経外科
- P2-11-2 生検の時期が下垂体前葉機能温存に影響したランゲルハンス細胞組織球症の 2 例**
佐藤 英里^{1,2}、向山 祐理¹、森口 駿¹、滝沢 文彦¹、小川 敦¹、小川 哲史¹、伊藤 純子¹、伊藤 慎治³、福原 紀章⁴、岡田 満夫⁴、西岡 宏⁴、磯島 豪¹
¹虎の門病院小児科、²国立成育医療研究センター、³虎の門病院病理診断科、
⁴虎の門病院間脳下垂体外科
- P2-11-3 下垂体腫瘍の 10 歳女児例**
吉田 あや^{1,2}、大矢知 真希²、山口 直哉²、鈴木 敦詞^{2,3}、青山 幸平²
¹一宮市立市民病院、²名古屋市立大学、³岐阜県立多治見病院
- P2-11-4 下垂体巨人症の診断に至らない、過成長と下垂体腺腫を伴う 5 歳女児の一症例**
金城 さおり、又吉 慶
沖縄県立中部病院小児科
- P2-11-5 McCune-Albright 症候群に合併した成長ホルモン産生微小腺腫は保存的に観察できた 8 歳女児**
金城 由佳里、井垣 純子
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児内分泌代謝内科
- P2-11-6 成長ホルモン分泌過剰が疑われる McCune-Albright syndrome の症例**
植田 郁実¹、石見 壮史¹、山田 知絵子¹、中野 由佳子¹、中山 尋文^{1,2}、山本 賢一^{1,3}、藤原 誠¹、大幡 泰久¹、北畠 康司¹、窪田 拓生¹
¹大阪大学大学院医学系研究科 小児科学、
²大阪大学大学院 歯学研究科 顎顔面口腔外科学、
³大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 生命育成看護科学講座

P2-11-7 生後早期に発症し、診断に時間を要した中枢性尿崩症の早産児 2 例

横山 陽子¹、奥野 美佐子¹、角田 朋大¹、田中 めぐみ²、堀部 拓哉³、中田 あゆみ¹、
香田 翼¹、柴田 暁男¹、李 知子¹、竹島 泰弘¹

¹兵庫医科大学病院小児科学、²姫路赤十字病院小児科、

³大阪府立病院機構大阪母子医療センター

P2-11-8 低血圧から中枢性尿崩症までバソプレシンで管理しえた重症仮死・脳室内出血の極低出生体重児例

筒井 英美、吉田 大輔、塚村 篤史、長井 静世、柳 貴英、丸尾 良浩

滋賀医科大学小児科学講座

ポスター発表 12 下垂体・成長 4

10月11日(金) 16:55 ~ 17:55 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 佐野 伸一朗 (静岡県立こども病院 糖尿病・代謝内科)

朝倉 由美 (菊名駅前育キッズクリニック)

P2-12-1 Isolated GHD Type II の兄妹例

樋口 洋介¹、川崎 綾子¹、藤原 進太郎¹、古城 真秀子¹、二川 奈都子²、長谷川 高誠²

¹独立行政法人国立病院機構岡山医療センター小児科、²岡山大学病医院小児科

P2-12-2 中枢神経刺激薬により一過性の身長増加不良、体重減少を来したが、休薬せずに回復した男児例

勝島 由利子¹、横山 浩之²、勝島 史夫¹

¹医療法人 勝島小児科医院、²ふくしま子ども、女性医療支援センター

P2-12-3 慢性腎臓病による成長障害を認めたシェーグレン症候群の 1 例

田邊 裕子、野村 直宏、見浪 実紀、山内 壮作、金子 一成

関西医科大学小児科学講座

P2-12-4 成長ホルモン療法を行った IGF-1 受容体遺伝子を含む 15q 末端部欠失の 8 歳女児の一例

山野 詩央、宇治田 風紗、塩田 翔吾、杉浦 愛子、谷本 英里、中川 万理恵、福井 貞弘、
本間 丈博、宮城 元、吉井 啓介、内木 康博、堀川 玲子

国立成育医療研究センター

P2-12-5 発達障害、低身長で診断に苦渋した 21 番染色体異常症の 1 例

門脇 弘子¹、寺嶋 宙^{1,2}、井田 孔明¹

¹帝京大学溝口病院小児科、²東京大学附属病院小児科

P2-12-6 軟骨低形成症に Turner 症候群を合併した一例

山口 由起子¹、妹尾 慎太郎¹、藤本 正伸¹、藤脇 建久²、難波 範行¹

¹鳥取大学医学部附属病院周産期・小児医学分野、²松江赤十字病院

P2-12-7 ターナー症候群の視機能と視覚認知を含む脳・認知機能の検討

- チェックリストと心理学的検査による比較 -

荒木 久美子¹、稲田 勤²、西垣 五月³、望月 貴博³、荒木 まり子⁴、間部 裕代⁵

¹秋山成長クリニック、²高知リハビリテーション専門職大学言語聴覚学専攻、

³希望の森成長発達クリニック、⁴高知大学医学部小児思春期医学、⁵間部病院小児科

P2-12-8 ターナー症候群の視機能と視覚認知を含む脳・認知機能の比較 - 訓練した 3 人のチェックリストによる評価 -

荒木 久美子¹、稲田 勤²、西垣 五月³、望月 貴博³、荒木 まり子⁴、間部 裕代⁵

¹秋山成長クリニック、²高知リハビリテーション専門職大学言語聴覚学専攻、

³希望の森成長発達クリニック、⁴高知大学医学部小児思春期医学、⁵間部病院小児科

10月11日(金) 16:55～17:55 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 川北 理恵 (倉敷中央病院小児科)

鈴木 大 (東北大学大学院医学系研究科 小児病態学分野)

P2-13-1 外性器男性化にて発見された21-水酸化酵素欠損症の姉と胎児診断・治療を行われた妹の臨床経過の比較

古城 真秀子¹、樋口 洋介¹、藤原 進太郎¹、川崎 綾子¹、青山 興司²

¹岡山医療センター小児科、²岡山医療センター小児外科

P2-13-2 21 水酸化酵素欠損症の同胞例 2 家系についての検討

杉浦 愛子^{1,2}、松村 知美¹、松岡 由希¹、三浦 義一¹、福田 明子¹、牧 美穂¹、
福岡 智哉¹、木村 武司¹、橘 真紀子¹、窪田 拓生¹、三善 陽子^{1,3}、北畠 康司¹

¹大阪大学大学院医学系研究科小児科、²国立成育医療研究センター 内分泌・代謝科、

³大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科

P2-13-3 新生児マスキングを契機に診断した非古典型 21-水酸化酵素欠損症の 1 例

岩本 美紀^{1,2}、高橋 朋香¹、宮脇 正和^{1,3}、白井 健⁴、本間 桂子⁵、長谷川 奉延⁵、
徳原 大介¹

¹和歌山県立医科大学小児科、²海南医療センター小児科、³紀南病院小児科、

⁴静岡社会健康医学大学院大学、⁵慶應義塾大学小児科

P2-13-4 非古典型 21 水酸化酵素欠損症兄弟例の 11-oxygenated androgens

高橋 修平¹、堀 尚明¹、木内 歌穂¹、草野 知江子¹、安達 恵利子²、鹿島田 健一²、
石井 智弘³、長谷川 奉延³

¹太田記念病院小児科、²東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 発生発達病態学分野、

³慶應義塾大学医学部小児科学教室

P2-13-5 繰り返す尿路感染症を契機に診断に至ったチトクローム P450 オキシドレダクターゼ欠損症 (PORD) の女児例

成田 知聡¹、三森 愛美¹、永田 万純¹、新井 喜康¹、中村 明雄¹、吉田 志帆²、
杉山 洋平¹、澁谷 聡一²、田中 裕子¹、中野 聡¹、中原 絵里¹、仲川 真由¹、志村 和浩⁴、
市橋 洋輔⁴、稲毛 英介¹、神保 圭佑¹、遠藤 周¹、安部 信平²、鈴木 光幸¹、古賀 寛之²、
春名 英典¹、田久保 憲行¹、石井 智弘⁴、長谷川 奉延⁴、清水 俊明^{1,3}

¹順天堂大学医学部小児科学講座、²順天堂大学医学部小児外科学講座、

³順天堂大学医学部医学研究科小児思春期発達・病態学、⁴慶應義塾大学医学部小児科学教室

P2-13-6 医原性クッシング症候群をきたした気管軟化症の一例

村井 雄紀¹、野村 明芳²、佐野 伸一郎¹

¹静岡県立こども病院糖尿病・代謝内科、²静岡県立こども病院小児外科

P2-13-7 臍帯血移植を施行した小児大脳型副腎白質ジストロフィーの兄弟例

遠藤 愛、森川 俊太郎、金子 直哉、菱村 希、澤井 彩織、平林 真介、小杉山 清隆、
杉山 未奈子、長 祐子、中村 明枝、真部 淳

北海道大学大学院医学研究院小児科学分野

P2-13-8 若年発症した褐色細胞腫の術前管理にメチロシンを使用した 1 症例

石本 隆浩^{1,2}、木村 拓郎¹、古賀 木綿子²、海野 聡子¹、西岡 淳子¹

¹久留米大学病院小児科、²大分県日田済生会病院

10月11日(金) 16:55～17:55 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 青山 幸平 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

井澤 雅子 (神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科)

- P2-14-1 松果体嚢胞は思春期開始に影響を与えるのかを考察する**
高桑 聖、多久和 麻由子
兵庫県立西宮病院小児科
- P2-14-2 当院における低ゴナドトロピン性性腺機能低下症の男子に対する性ホルモン補充療法の検討**
石川 琢也、福田 太郎、福嶋 真依、加藤 俊輔、水谷 陽貴、濱島 崇
あいち小児保健医療総合センター
- P2-14-3 日本人 Hypogonadotropic hypogonadism 患者における TCF12 スプライスサイトバリアントの同定**
鈴木 江莉奈¹、菅野 潤子²、島 彦仁²、黒木 陽子^{3,4,5}、深見 真紀^{1,3}
¹ 国立成育医療研究センター研究所分子内分泌研究部、² 東北大学医学部小児科、
³ 国立成育医療研究センター研究所ダイバーシティ研究室、
⁴ 国立成育医療研究センター研究所共同研究管理室、
⁵ 国立成育医療研究センター研究所ゲノム医療研究部
- P2-14-4 遺伝学的検査が有用であった古典型 46,XY 先天性リポイド過形成症の 1 例**
秋定 博子¹、長谷川 真理¹、志村 和浩²、市橋 洋輔²、鳴海 覚志²、長谷川 奉延²、
野上 恵嗣¹
¹ 奈良県立医科大学小児科、² 慶應義塾大学医学部小児科学教室
- P2-14-5 二次性徴の欠如を契機に診断された Frasier 症候群の 12 歳女児例**
関 祐子、三浦 希和子、徳永 美菜子、柿本 令奈、森田 智、岡本 康裕
鹿児島大学病院小児科
- P2-14-6 小陰茎と高度尿道下裂のみを認める CHD7 disorder の 1 例**
上村 美季¹、渡邊 浩司¹、藤井 佳凜¹、萩野 麻緒¹、田山 耕太郎¹、酒井 秀行¹、
渡邊 庸平¹、大沼 良一¹、千葉 洋夫¹、久間木 悟¹、島 彦仁²、菊池 敦生²、
菅野 潤子²
¹ 国立病院機構仙台医療センター小児科、² 東北大学大学院医学系研究科 小児病態学分野
- P2-14-7 新生児期の外性器異常が受診の契機となった Mowat-Wilson 症候群の一男児例**
神川 愛純、東 玖美、松永 実香、黒田 文人、岡島 道子、和田 泰三
金沢大学附属病院
- P2-14-8 小陰茎に対する男性ホルモン治療の効果と長期経過の検討**
青山 幸平¹、大矢知 真希¹、吉田 あや^{1,2}、山口 直哉¹、鈴木 敦詞^{1,3}、水野 晴夫⁴、
西尾 英紀⁵、水野 健太郎⁵、林 祐太郎⁵、齋藤 伸治¹
¹ 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野、² 一宮市立市民病院小児科、
³ 岐阜県立多治見病院小児科、⁴ 藤田医科大学医学部小児科学、
⁵ 名古屋市立大学大学院医学研究科小児泌尿器科学分野

ポスター発表 15 糖代謝・糖尿病・低血糖 3

10月11日(金) 16:55 ~ 17:55 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 松井 克之 (滋賀県立小児保健医療センター内分泌代謝糖尿病科)
小林 浩司 (山梨厚生病院小児科)

- P2-15-1 学校検尿を契機に発見された単一遺伝子異常による糖尿病の 6 症例**
田嶋 華子^{1,2}、堀川 幸男^{3,4}、右田 真¹
¹ 日本医科大学武蔵小杉病院小児科、² 日本医科大学付属病院小児科、
³ 岐阜大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌代謝内科学、
⁴ 岐阜大学医学部附属病院 ゲノム疾患・遺伝子診療センター
- P2-15-2 1 型糖尿病における残存膵β細胞機能を考慮したインスリン治療の検討**
家村 綾正¹、小野 真^{1,2}
¹ 千葉市立海浜病院小児科、² 東京ベイ・浦安市川医療センター小児科

P2-15-3 高度肥満を伴う MODY3 の 9 歳女児例

小松 理瑛子¹、中野 さつき¹、天野 直子¹、鳴海 覚志²、石井 智弘²、長谷川 奉延²
¹さいたま市立病院 小児科、²慶應義塾大学医学部 小児科

P2-15-4 HNF4A p.R76W 変異を有した MODY1 にグリメピリドが有効であった一例

中川 万理恵、山野 詩央、塩田 翔吾、杉浦 愛子、本間 丈博、福井 貞弘、谷本 英里、
宮城 元、宇治田 風紗、内木 康博、堀川 玲子
国立成育医療研究センター

P2-15-5 乳幼児期にインスリン依存性糖尿病として発症したインスリン遺伝子異常の父子例

松本 英樹¹、堀 友博^{1,2}、ブライアント 亜依子¹、森 真以^{1,2}、門脇 朋範¹、笹井 英雄^{1,2,3}、
小関 道夫¹、川本 典生¹、大西 秀典^{1,2}
¹岐阜大学大学院医学系研究科小児科学、
²岐阜大学医学部附属病院ゲノム疾患・遺伝子診療センター、
³岐阜大学大学院医学系研究科小児希少難病早期診断・予防医学講座

P2-15-6 1 型糖尿病とバセドウ病を同時期に発症した 14 歳女児例

地行 健二¹、平井 洋生¹、濱田 淳平²
¹四国中央病院小児科、²愛媛大学医学部附属病院小児科

P2-15-7 1 型糖尿病の経過中に血糖値と HbA1c の乖離を契機に診断された遺伝性球状赤血球症の一例

岩佐 真実^{1,2}、東出 侑子²、黒岩 由紀²、森 俊彦²、近藤 謙次²、母坪 智行³、
中村 慧⁴、下川 萌⁵、大山 和紗⁶、末岡 秀文⁶、石井 玲⁶、山本 雅樹⁶、津川 毅⁶
¹浦河赤十字病院小児科、²NTT 東日本札幌病院小児科、³さっぽろ小児内分泌クリニック、
⁴岩見沢市立総合病院小児科、⁵地域医療機能推進機構札幌北辰病院小児科、
⁶札幌医科大学小児科学講座

P2-15-8 鹿児島市学校糖尿検診緊急対応システムの検討

溝田 美智代^{1,2}、八重倉 和朗^{1,3}
¹鹿児島市医師会学校腎臓・糖尿検診委員会、²今村総合病院小児科、³八重倉医院

ポスター発表 16 糖代謝・糖尿病・低血糖 4

10月11日(金) 16:55 ~ 17:55 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 志賀 健太郎 (横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター)
小川 洋平 (新潟大学医歯学総合病院小児科)

P2-16-1 強化インスリン療法中の抑うつ傾向に対し、心理的介入と治療法の変更が改善に寄与した 1 型糖尿病女児例

荻原 和樹、成澤 宏宗、渡邊 大輔、佐野 史和、齋藤 朋洋、矢ヶ崎 英晃、加賀 佳美、
小鹿 学、小林 浩司、太田 正法、犬飼 岳史
山梨大学医学部附属病院小児科

P2-16-2 小児 1 型糖尿病における訪問看護導入の効果に関する後方視的研究

平國 由佳、糸永 知代、松田 史佳、前田 美和子、井原 健二
大分大学医学部附属病院

P2-16-3 異常インスリンにより亜急性の発症経過を示す 1b 型糖尿病の成長曲線

齋藤 洋子、家村 綾正、中谷 久恵、安達 恵利子、桐野 玄、高澤 啓、鹿島田 健一
東京医科歯科大学医歯学総合研究科発生発達病態学分野

P2-16-4 発症から 10 か月後に抗 GAD 抗体の陽転化を確認し、1A 型糖尿病と診断した 4 歳男児例

塚村 篤史、筒井 英美、長井 静世、丸尾 良浩
滋賀医科大学

P2-16-5 炭水化物制限中に著しい成長障害を示した 1 型糖尿病の 1 例

川嶋 明香¹、曾木 千純^{1,2}、上村 美季^{1,3}、菊池 敦生¹、菅野 潤子¹
¹東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野、²JCHO 仙台病院小児科、
³国立病院機構仙台医療センター小児科

P2-16-6 発症時に中等度肥満を伴った 1 型糖尿病の 1 例

村上 詩歩¹、神野 和彦²、壺井 史奈²、古森 遼太²、石川 暢恒²、郷田 聡³、
大田 敏之³

¹ 県立広島病院初期研修医、² 県立広島病院小児科、³ 県立広島病院小児腎臓科

P2-16-7 小児境界型症例における 2 型糖尿病進展予測に関する検討

小川 洋平、入月 浩美、柴田 奈央、澤野 堅太郎、小貫 孝則、齋藤 昭彦
新潟大学医歯学総合病院小児科

P2-16-8 小児 2 型糖尿病発症時の基礎インスリン療法とインスリン頻回注射療法の臨床的特徴

寺田 啓輝、田邊 聡美、峯 佑介、青木 政子、鈴木 潤一、森岡 一朗

日本大学医学部小児科学系小児科学分野

ポスター発表 17 甲状腺 3

10月11日(金) 16:55 ~ 17:55 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 橘田 一輝 (北里大学医学部小児科学)

宮田 市郎 (東京慈恵会医科大学小児科学講座)

P2-17-1 多臓器合併症を認めた萎縮性甲状腺炎の 7 歳女児

徳永 美菜子、溝田 美智代

今村総合病院小児科

P2-17-2 成長障害の発症から診断までに 3 年以上を要した萎縮性甲状腺炎の 3 例

河原 さくら¹、岩淵 敦^{1,2}、岩崎 友哉¹、篠原 宏行¹、八牧 愉二¹、鬼澤 裕太郎³、
高田 英俊^{1,2}

¹ 筑波大学附属病院小児科、² 筑波大学医学医療系小児科、³ 鬼沢ファミリークリニック

P2-17-3 繰り返す無痛性甲状腺炎をきたした 21 trisomy の女児例

大澤 好充、山口 将邦、和田 綾、大津 義晃、滝沢 琢己

群馬大学大学院医学系研究科小児科学

P2-17-4 有痛性甲状腺腫大と甲状腺中毒症を反復した橋本病急性増悪

多久和 麻由子、高桑 聖

兵庫県立西宮病院

P2-17-5 成長曲線の作成が診断の一助となった乳幼児 Basedow 病の 2 例

金子 拓弥^{1,2}、香川 二郎¹、藤井 康仁¹、篠原 友香¹、櫻井 史紀¹、吉野 彰兼¹、
室谷 浩二²、佐野 伸一郎³、久保田 晃¹

¹ 藤枝市立総合病院小児科、² 神奈川県立こども医療センター内分泌代謝科、

³ 静岡県立こども病院糖尿病代謝内科

P2-17-6 やせ・無月経を契機に診断された Basedow 病の 1 例

木原 牧子、鮎田 香子、山本 紘子、柴 康弘、阿部 茉衣子、皆川 真規

千葉県こども病院内分泌科

P2-17-7 甲状腺機能亢進症による高カルシウム血症により食欲が低下したと考えられた 1 女児例

橘田 一輝、浦田 芽久美、石倉 健司

北里大学医学部小児科学

P2-17-8 異なった経過を呈したバセドウ病母体から出生した新生児 2 例

熊田 寛子¹、円山 牧子²、武内 香菜子¹、内海 孝法¹、坂田 園子¹、香川 礼子¹、
岡田 賢¹

¹ 広島大学病院小児科、² 国立病院機構広島西医療センター小児科

ポスター発表 18 甲状腺 4

10月11日(金) 16:55～17:55 ポスター会場(1F G3 + G4)

座長 麻生 敬子(東邦大学医療センター大森病院小児科)
虫本 雄一(九州大学病院小児科)

P2-18-1 血清クレアチニンから算出した推算糸球体ろ過量(eGFRcr)は甲状腺機能と共に変動する

植田 有紀子、伊藤 駿、麻生 敬子、佐藤 真理
東邦大学医療センター大森病院小児科

P2-18-2 一過性甲状腺機能低下症患者の長期的知的発達予後

池谷 紀衣子¹、樋口 アカリ²、柏坂 舞¹、西藤 知城¹、松本 真明¹、尾崎 佳代¹
¹兵庫県立こども病院代謝内分泌科、²二子新地ひかりこどもクリニック小児科

P2-18-3 T4投与に抵抗性を示し、T3+T4治療で安定した橋本病の1例

松本 和子、加藤 嘉一、神村 未来、福重 寿郎
鹿児島市立病院

P2-18-4 成長ホルモン分泌不全性低身長症に橋本病を合併した女児例

島崎 俊介、岸村 美宥、木谷 豊、佐藤 純一
船橋市立医療センター小児科

P2-18-5 GH分泌刺激試験中の甲状腺ホルモン代謝の変動に関する検討

今田 寛、高谷 具純、金野 友紀、濱田 洋通
千葉大学医学部附属病院小児科

P2-18-6 バセドウ病に伴う症候性高カルシウム血症を生じたダウン症候群の1例

松丸 直裕¹、渥美 ゆかり¹、山内 建^{1,2}、本倉 浩嗣¹、友邊 雄太郎^{1,2}、中橋 達¹、
伊原 崇晃¹、高原 賢守¹、上村 克徳¹、毎原 敏郎¹
¹兵庫県立尼崎総合医療センター、²京都大学医学部附属病院小児科

P2-18-7 甲状腺機能性腺腫様結節の摘出術前後に甲状腺ホルモン値の内服調整を要した1例

阿部 茉衣子、数川 逸郎、木原 牧子、鮎田 香子、山本 紘子、柴 康弘、皆川 真規
千葉県こども病院内分泌科

ポスター発表 19 骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患 2

10月11日(金) 16:55～17:55 ポスター会場(1F G3 + G4)

座長 北岡 太一(医誠会国際総合病院小児科)
皆川 真規(千葉県こども病院内分泌科)

P2-19-1 軟骨無形成症患者のボソリチド導入後1年間の成長速度

鹿島 健幹¹、池側 研人^{1,2}、今野 麻里絵^{1,3}、天野 直子^{1,3}、長谷川 行洋^{1,4}
¹東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科、
²東京都立小児総合医療センター臨床研究支援センター、³慶応義塾大学医学部小児科学教室、
⁴多摩北部医療センター小児科

P2-19-2 「当院における軟骨無形成症10例の治療経験」

兼次 拓也^{1,2}、黒川 慎吾¹、名嘉山 賀子¹、仲田 昌吾¹、島袋 渡¹、浜田 和弥¹、
仲村 貞郎¹、金城 紀子¹、知念 安紹¹、中西 浩一¹
¹琉球大学大学院医学研究科育成医学(小児科)講座、²琉球大学病院周産母子センター

P2-19-3 成長ホルモンからvosoritideに変更した軟骨無形成症6例における治療効果の比較検討

渡辺 健太、木村 妙、田村 奈津子、田嶋 朝子、小林 正久、宮田 市郎
東京慈恵会医科大学小児科学講座

P2-19-4 潜在性甲状腺機能低下を認めた、ボソリチド投与が奏功した軟骨無形成症の男児

田中 基意、根本 千裕、松井 克之
滋賀県立小児保健医療センター

P2-19-5 当院で経験した偽性副甲状腺機能低下症 1b の臨床・遺伝学的特徴について

福井 貞弘、谷本 英里、宇治田 風紗、宮城 元、吉井 啓介、内木 康博、堀川 玲子
国立成育医療研究センター

P2-19-6 二次性 QT 延長症候群による失神を契機に診断された偽性副甲状腺機能低下症 1b の 8 歳女児例

花輪 和¹、村崎 亘¹、下川 諒子¹、松原 未歩¹、及川 輝¹、吉澤 志保¹、多村 公晃¹、
高木 健²、南波 広行¹、宮田 市郎³

¹ 東京慈恵会医科大学附属柏病院小児科、² 東京慈恵会医科大学附属第三病院小児科、
³ 東京慈恵会医科大学小児科学講座

P2-19-7 偽性偽性副甲状腺機能低下症の一家系：成人後も定期フォローは必要である

浅井 優作¹、村中 あかり¹、沼倉 周彦^{1,2,3}、三井 哲夫¹

¹ 山形大学医学部附属病院小児科、² 埼玉医科大学病院 ゲノム医療科、
³ 埼玉医科大学病院 小児科

P2-19-8 新規の GNAS バリエントで発症した偽性副甲状腺機能低下症関連疾患の 2 症例

堂福 美佳¹、浅井 眞穂¹、山本 史徳²、中村 幸恵¹、田島 敏広¹

¹ 自治医科大学小児科、² 日本赤十字社医療センター皮膚科

ポスター発表 20 骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患 3

10月11日(金) 16:55 ~ 17:55 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 原田 大輔 (地域医療機能推進機構 (JCHO) 大阪病院小児科)

道上 敏美 (大阪母子医療センター研究所 骨発育疾患研究部門)

P2-20-1 新生児期から経過観察中の X 連鎖性低リン血症性くる病の 3 例

南谷 幹史、古村 健多

帝京大学ちば総合医療センター小児科

P2-20-2 動揺性歩行から診断に至った FGF23 関連低リン血症性くる病・骨軟化症の 12 歳女児例

佐々木 都寛¹、柳沼 ひなの¹、東谷 輝¹、高橋 佑果¹、大久保 幸宗¹、差波 新¹、
伊藤 裕也¹、金城 学¹、藤原 幾磨²

¹ 八戸市立市民病院、² 仙台市立病院

P2-20-3 ブロスマブで低リン血症が改善しなかった X 染色体連鎖性低リン血症性骨軟化症の一例

山口 将邦、和田 綾、島田 正晴、大澤 好充、大津 義晃、滝沢 琢己

群馬大学医学部附属病院小児科

P2-20-4 当院で診断した骨形成不全症の 8 例

加藤 嘉一、神村 未来、檜作 和子

鹿児島市立病院小児科

P2-20-5 骨形成不全症患者に対する遺伝解析とビスフォスフォネートの治療効果に関する検討

武藤 結子¹、成澤 宏宗¹、渡邊 大輔¹、矢ヶ崎 英晃¹、三井 弓子¹、佐野 友昭¹、
太田 正法¹、若生 政憲²、犬飼 岳史¹

¹ 山梨大学医学部附属病院小児科、² 山梨大学医学部附属病院整形外科

P2-20-6 Denosumab による治療中に高 Ca 血症を呈した骨形成不全症 I 型の 1 例

柴崎 拓実、市川 加波、師田 悠、中村 千鶴子、原 洋祐、松浦 宏樹、水野 史、
中沢 洋三

信州大学医学部小児医学教室

P2-20-7 出生後に周産期重症型低ホスファターゼ症と診断し酵素補充療法を開始した 2 例

円山 牧子¹、武内 香菜子²、熊田 寛子²、内海 孝法²、坂田 園子²、香川 礼子²、
高橋 志保³、本田 茜⁴、中山 尋文^{5,6}、北岡 太一⁷、大藪 恵一⁷、岡田 賢²

¹ 広島西医療センター小児科、² 広島大学大学院医系科学研究科小児科学、

³ JA 尾道総合病院小児科、⁴ 広島市立広島市民病院総合周産期母子医療センター新生児科、

⁵ 大阪大学大学院医学系研究科小児科学、⁶ 大阪大学大学院歯学研究科顎顔面口腔外科学、

⁷ 医誠会国際総合病院難病医療推進センター

P2-20-8 遺伝子解析を行った低 ALP 血症の 4 例

北川 幸子^{1,2}、岩山 秀之^{2,3}、伊藤 嘉規²、奥村 彰久²

¹ 総合大雄会病院小児科、² 愛知医科大学医学部小児科、³ ほしがおか成長クリニック

ポスター発表 21 CCS・症候群・遺伝子・その他

10月11日(金) 16:55～17:55 ポスター会場 (1F G3 + G4)

座長 糸永 知代 (大分大学医学部小児科)

森川 俊太郎 (北海道大学大学院医学研究院小児科学分野)

P2-21-1 大動脈瘤・解離で入院したターナー症候群及びマルファン症候群の患者背景とアウトカムの比較

倉川 佳世¹、川井 正信^{2,3}、岡田 啓¹、井上 堯文⁴、井上 玲子¹、松尾 裕一郎⁵、
伏見 清秀⁶、康永 秀生⁷、山内 敏正⁸、南学 正臣⁹、門脇 孝^{1,8,10}、山口 聡子¹

¹ 東京大学大学院医学系研究科 社会連携講座 糖尿病・生活習慣病予防講座、

² 大阪母子医療センター研究所 分子遺伝・内分泌代謝研究部門、

³ 難治性疾患政策研究事業 成長障害・性分化疾患を伴う内分泌症候群 (プラダーウィリ症候群・ヌーナン症候群を含む) の診療水準向上を目指す調査研究班、

⁴ 埼玉東部循環器病院 心臓血管外科、⁵ 東京大学大学院 社会医学専攻 臨床疫学・経済学、

⁶ 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 医療政策情報学分野、

⁷ 東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 臨床疫学・経済学、

⁸ 東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科、

⁹ 東京大学大学院医学系研究科 腎臓・内分泌内科、

¹⁰ 虎の門病院

P2-21-2 小児腎血管性高血圧の症例提示と文献レビュー—腎血管性高血圧の病態の検討

越智 彩子¹、安達 昌功¹、石田 竜之¹、茂木 桜¹、永原 敬子¹、藤井 隆成²、
水野 克己¹

¹ 昭和大学医学部小児科学講座、² 昭和大学医学部小児科学講座 小児循環器内科学部門

P2-21-3 ABCD 症候群 (ABnormal calcium/Calcinosis/Creatinine in Down syndrome) の 2 例

日野 孝祐、馬場 皆人、藤原 香緒里、山村 なつみ、道上 敏美、山本 勝輔
大阪母子医療センター

P2-21-4 小児脳腫瘍患者における整形外科的疾患 (大腿骨頭すべり症と側弯症) 合併例の検討

福嶋 真依、福田 太郎、石川 琢也、加藤 俊輔、水谷 陽貴、濱島 崇
あいち小児保健医療総合センター

P2-21-5 著明な高カルシウム血症を呈した遠位尿細管性アシドーシスの乳児例

阿部 裕樹、唐橋 裕輔、海津 勇希、金井 美貴、藤井 裕太、岡本 日向、羽深 理恵、
山中 崇之、眞柄 慎一、上原 由美子、塚野 真也
新潟市民病院小児科

P2-21-6 高カルシウム血症を契機に診断した Williams 症候群

田中 達之、竹内 幸
豊橋市民病院

P2-21-7 多毛症を契機に当科紹介となった Cantu 症候群の一例

東 玖美¹、神川 愛純¹、岡島 道子¹、黒田 文人¹、伊川 泰広^{1,2}、和田 泰三¹、
松下 貴史³

¹ 金沢大学附属病院小児科、² 金沢医科大学小児科、³ 金沢大学附属病院皮膚科

P2-21-8 造血幹細胞移植後に抗 GAD 抗体が陽性となった思春期糖尿病の 3 例

山内 建^{1,2}、岩永 甲午郎¹、境内 愛実¹、友邊 雄太郎¹、加藤 格¹、梅田 雄嗣¹、
河井 昌彦²、滝田 順子¹

¹ 京都大学医学部附属病院小児科、² 京都大学大学院医学研究科 新生児学講座

オンデマンド配信のみのセッション

教育講演 1 ※専門医共通講習 1単位

- EL1 院内医療安全対策の基本と実践**
 永瀨 弘之
 神奈川県立こども医療センター医療安全推進部

教育講演 2 ※専門医共通講習 1単位

- EL2 院内感染対策のイロハ**
 鹿間 芳明
 神奈川県立こども医療センター感染制御室

教育講演 3 ※専門医共通講習 1単位

- EL3 症例発表（学会発表・論文投稿）のお作法（倫理・COIを含む）**
 天野 直子
 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科

教育講演 4 ※小児科領域講習 1単位

- EL4 症状、顔貌から疑う先天異常症候群**
 黒澤 健司
 国立成育医療研究センター遺伝診療センター

教育講演 5 ※小児科領域講習 1単位

- EL5 覚えておきたい小児整形外科疾患 <診断と治療>**
 大庭 真俊
 神奈川県立こども医療センター整形外科

教育講演 6 ※小児科領域講習 1単位

- EL6 外来で診る小児の皮膚疾患**
 馬場 直子
 神奈川県立こども医療センター

教育講演 7 ※小児科領域講習 1単位

- EL7 1時間で実践力アップ！小児アレルギー外来診療 虎の巻**
 -花粉症・気管支喘息から食物アレルギーまで-
 犬尾 千聡
 神奈川県立こども医療センターアレルギー科

教育講演 8 ※小児科領域講習 1単位

- EL8 知って得する小児外科の知識と技術**
 北河 徳彦
 神奈川県立こども医療センター外科

教育講演 9 ※小児科領域講習 1単位

- EL9 COVID-19 流行後に増加した子どもの心の問題 ～食べない・食べられない子どもの診療～**
 庄 紀子
 神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科

教育講演 10 ※日本内分泌学会指定講演 1単位

- EL10 ROHHAD 症候群ってなんだろう？～疾患を見逃さないために～
宇都宮 朱里^{1,2}
¹広島市立北部医療センター安佐市民病院小児科、²広島大学大学院医系科学研究科

教育講演 11 ※日本内分泌学会指定講演 1単位

- EL11 保険診療と診療報酬改定について
藤原 幾磨
仙台市立病院小児科

教育講演 12 ※日本内分泌学会指定講演 1単位

- EL12 エビデンスに基づく夜尿症診療の実践とコツ
白柳 慶之
佐々木クリニック泌尿器科・小児泌尿器科

教育講演 13 ※日本内分泌学会指定講演 1単位

- EL13 患者特異的 iPS 細胞を用いた疾患研究の展望：ブラダーウィリー患者由来 iPS 細胞を用いた病態研究について
奥野 博庸¹、根本 晶抄²、今泉 研人²、山田 茉未子³、小崎 健次郎³、岡野 栄之³
¹東京医科大学小児科・思春期科学分野、²慶應義塾大学再生医療リサーチセンター、
³慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター

Year Book 1

- YB1 下垂体・成長
鞆嶋 有紀
島根大学医学部小児科学教室

Year Book 2

- YB2 副腎
藤澤 泰子
浜松医科大学小児科

Year Book 3

- YB3 性腺・性分化疾患
高澤 啓
東京医科歯科大学発生発達病態学分野 / 小児科

Year Book 4

- YB4 思春期
川井 正信
大阪母子医療センター研究所分子遺伝病研究部門

Year Book5

- YB5** **甲状腺**
阿部 清美
東京都済生会中央病院小児科

Year Book6

- YB6** **骨代謝・副甲状腺・骨系統疾患**
大幡 泰久
大阪大学大学院医学系研究科 小児科学

Year Book7

- YB7** **糖尿病・低血糖・糖代謝**
鈴木 滋
旭川医科大学小児科

Year Book8

- YB8** **肥満・やせ・栄養・脂質代謝**
蜂屋 瑠見
東京歯科大学市川総合病院小児科

Year Book9

- YB9** **CCS・腫瘍・トランジション**
佐藤 武志
慶應義塾大学医学部小児科学教室

Year Book10

- YB10** **新生児内分泌**
矢ヶ崎 英晃
山梨大学医学部小児科

Year Book11

- YB11** **遺伝・症候群**
伊達木 澄人
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 小児科学